

令和7年4月

各施設責任者の皆様

公益信託 臨床検査医学研究振興基金
運 営 委 員 長 高 木 康

平素は、公益信託 臨床検査医学研究振興基金にご支援、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

当基金は、別紙ご挨拶状にも記載してありますように、臨床検査医学の分野において学術的貢献の期待が大きいと認められる若手研究者に研究奨励金を贈り、将来に向けて研究者を育成しようとするものであります。昭和56年に創立されました臨床病理学研究振興会の事業を恒久的に存続させるために昭和63年に公益信託として発足し、本年度で37年目を迎えております。

今年度も例年同様に、研究奨励金授与候補者の募集要項をお送りさせていただきます。

本研究奨励金は、臨床検査医学分野の研究に特化した助成金であります。萌芽的な研究や、今まであまり助成金を受けたことがない研究也大歓迎です。一時期、応募件数が少なかった時期もありましたが、近年は応募者数が増加しており、医師のみならず技師の皆さんの応募も増えてきております。

将来、有為な若手研究者を育成すべく、また臨床検査医学分野の発展に貢献できることを熱望しながら、関係者一同、鋭意努力いたしております。

皆様方の積極的なご応募をお待ちしております。

令和7年4月

関係各位

公益信託 臨床検査医学研究振興基金

運営委員長 高木 康



拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、公益信託臨床検査医学研究振興基金（平成15年4月公益信託臨床病理学研究振興基金より名称を変更）は、昭和56年に創立された『臨床病理学研究振興会』の事業を恒久的に存続することを願い、厚生（現厚生労働）大臣の許可を得て昭和63年に発足しました。

爾来、今日まで、臨床検査医学分野における若手研究者に対する研究奨励（助成）事業を実施して参りました。『臨床病理学研究振興会』発足から44年目、公益信託として認可を受けてから37年目を迎えたことになります。

また、過年度において本基金（前身の臨床病理学研究振興会を含む）より研究奨励金を授与され、その後5年以上を経過し、引き続き臨床検査医学分野において優れた業績をあげている研究者に対する顕彰事業として「小酒井 望賞」を創設し、平成2年度より実施しております。

さらに、永年にわたり臨床検査業務に従事され、とくに臨床検査室の管理運営において顕著な功績があった臨床検査専門家に対する顕彰事業として「藤田 光一郎賞」を創設し、平成15年度より実施しております。

このたび、令和7年度「研究奨励金」授与候補者ならびに「藤田 光一郎賞」顕彰候補者の募集を行うことになりましたので、同封しました下記の書類をご参照いただき、各候補者をご推薦くださいますようお願い申し上げます。

なお、本基金は推薦者・被推薦者の方の個人情報をも、「研究奨励金」授与候補者ならびに「藤田 光一郎賞」顕彰候補者の選考のために必要な範囲において取扱い、その範囲を超えて使用することは一切ありません。

敬 具

記

（同封書類）①「公益信託 臨床検査医学研究振興基金」の概要

② 令和7年度「研究奨励金」授与候補者の応募要項および申請書

③ 反社会的勢力でないことの表明・確約書（研究奨励金候補者）

④ 令和7年度「藤田 光一郎賞」顕彰候補者の応募要項および推薦書

以 上

「公益信託 臨床検査医学研究振興基金」の概要

1. 目的 臨床検査医学分野の研究、技術の開発に対する助成と顕彰等により臨床検査医学の振興を図り、以って医学の進歩および医療技術の高度化に寄与することを目的とする。
2. 事業 ①臨床検査医学分野において貢献期待度大と認められる研究の奨励および研究者への助成
②臨床検査医学分野における優れた研究業績等に対する顕彰
③研究成果の学術誌および学会における発表の援助ならびにその研究報告書の作成
④その他目的達成のために必要な事業
3. 当初信託財産 3億円
4. 信託管理人 登 勉 三重大学名誉教授
5. 運営委員長 高 木 康 昭和大学名誉教授
運営委員 石 川 剛 生 富士レビオ・ホールディングス株式会社代表取締役社長
(五十音順) 一 山 智 医療法人医仁会 武田総合病院 病院長
東 條 尚 子 三楽病院 臨床検査科 部長
松 本 誠 株式会社エスアールエル代表取締役社長
三 澤 成 毅 順天堂大学医療科学部 臨床検査学科先任准教授
宮 地 勇 人 新渡戸文化短期大学 臨床検査学科教授・学長
山 田 俊 幸 群馬パース大学 医療技術学部教授・副学長
6. 委託者 ①富士レビオ株式会社
②株式会社エスアールエル
7. 受託者 みずほ信託銀行株式会社

以 上

公益信託 臨床検査医学研究振興基金

令和7年度「研究奨励金」授与候補者応募要項

1. 目 的

本基金は、臨床検査医学（臨床病理学、臨床検査診断学、検査診断学、病態検査学等）および臨床検査分野において活躍し、学術的貢献の期待が大きいと認められる若手研究者に研究奨励金を贈り、将来に向けて若手研究者を育成することを目的とする。

2. 対 象

臨床検査医学（臨床病理学、臨床検査診断学、検査診断学、病態検査学等）および臨床検査分野に関する研究のうち、本基金の目的に合致するもの。

3. 応募資格

「研究奨励金」授与候補者は、次のいずれの項目にも該当しない研究者とする。

- ① 応募締切日において年齢が50才以上の者
- ② 教授職または病院・研究所等の部長職以上の者
- ③ 過年度において本基金（「臨床病理学研究振興会」時も含む）の研究奨励金を受けた者

4. 助成金額

1件100万円以内

5. 応募方法

申請者は、下記の提出書類（1）、（2）を事務局あてにご郵送ください。

【提出書類】

- （1）令和7年度「研究奨励金」授与候補者申請書
- （2）反社会的勢力でないことの表明・確約書（研究奨励金候補者）

* 論文の別冊またはコピーの提出は不要です。

【申請書類の記入について】

- （1）令和7年度「研究奨励金」授与候補者申請書の記入について

申請者は、所定の「研究奨励金」授与候補者申請書に候補者氏名^{ふりがな}の他、必要事項を全てご記入ください。

候補者氏名欄^{ふりがな}および推薦者氏名欄は、必ず 自署（サイン） でご記入のうえ、押印をお願いします。

- （2）反社会的勢力でないことの表明・確約書の記入について

申請者は、所定の「反社会的勢力でないことの表明・確約書」に

記入日、ご自宅住所、氏名（自署）、生年月日をご記入のうえ、押印をお願いします。

【申請書の電子ファイルについて】

申請書の電子ファイル（.xls）をご希望の方は、下記ホームページより研究奨励金申請用紙をダウンロードしてご使用ください。

「H. U. GROUP」ホームページ

<https://www.hugp.com/promotionfund/guideline.html>

6. 締切日

令和7年6月20日（金）事務局必着

7. 選考方法

本基金の運営委員会が委嘱した選考委員会において選考のうえ、運営委員会において決定する。

8. 研究奨励金の贈呈日

令和8年2月（予定）

9. 申請書類送付先

〒100-8241

東京都千代田区丸の内1-3-3

みずほ信託銀行株式会社 ウェルスマネジメント推進部 信託業務開発チーム

「公益信託 臨床検査医学研究振興基金」事務局

電話 03（6631）7640

E-mail：koueki.tb@mizuhotb.co.jp

- （注）1. 「研究奨励金」授与候補者は、応募に際して当該研究が行われる大学・研究所等の施設長または機関長の承諾を必ず得てください。
2. 「研究奨励金」受賞者（共同研究代表者を含み）には、研究についての成果報告書（経過と結果）および奨励金についての収支報告書（確証を添付のうえ）を提出していただきます。
- また、研究終了時においては学会誌等に研究の成果を発表してください。
- なお、発表の際には“公益信託臨床検査医学研究振興基金より「研究奨励金」を授与された研究である”旨を明記してください。
3. 「研究奨励金」は贈呈後、1年以内に使用することを原則とします。
4. 本基金は、「研究奨励金」受賞者の便を図るため、希望により受賞者所属機関による「委任経理」での手続きに応じます。その際、本基金の「研究奨励金」は研究者の研究活動の一助として助成するものであることから、受賞者所属機関には間接経費の徴収免除をお願いしております。

以 上

令和7年4月

公益信託臨床検査医学研究振興基金

Charitable Trust Laboratory Medicine Research Foundation of Japan

信託管理人	登	勉
運営委員長	高	木 康

公益信託 臨床検査医学研究振興基金
令和7年度「研究奨励金」授与候補者申請書(記入例.1)

候補者氏名(ふりがな)

やまだ たろう

山田太郎

自署で
お願いします。

印

生年月日(西暦で記入してください。)

1982 年 1 月 10 日生(満 43 歳)

*共同研究の場合は代表者氏名を記入し、別項(下段、共同研究者欄)に共同研究者に関する事項を記入してください。

現 職(主たる勤務先、所属、役職名)

国際大学医学部附属病院 検査部 准教授

学 位 博士(医学) (国際大学)

資 格(医師・臨床検査技師・臨床検査専門医・その他学術団体が認定する資格)

医師免許(2006年4月取得)、臨床検査専門医

学 歴(専修学校以上を西暦で記入してください。)

2000 年 4 月 国際大学医学部入学

2006 年 3 月 同校卒業

2008 年 4 月 国際大学大学院医学系研究科博士課程入学

2012 年 3 月 同校修了

最終卒業学校

大学 (年 月 卒業)

国際大学 大学院 医学系研究科 (2012 年 3 月 修了)

職 歴(西暦で記入してください。)

2006 年 4 月～ 2008 年 3 月 国際大学 医学部附属病院 研修医

2012 年 4 月～ 2014 年 3 月 国際大学 医学部附属病院検査部 医員

2014 年 4 月～ 2016 年 3 月 国際大学 医学部附属病院検査部 助手

2016 年 4 月～ 2017 年 3 月 国際大学 医学部附属病院検査部 助教授

2017 年 4 月～ 現在に至る年 月 国際大学 医学部附属病院検査部 准教授

年 月～ 年 月

臨床検査業務とのかかわりを具体的に記入してください。

検査部血液部門の管理運営、骨髓標本コメント記載、検査相談、学生教育

所属学会

日本臨床検査医学会・日本内科学会・日本血液学会

研究題目

フローサイトメトリーを用いた
白血球細胞転写因子の解析

研究分野(次の中から該当するものを原則として1つ選び、○印をしてください。ただし、必要な場合は複数可。)

C:生 化 学 M:微 生 物 学

H:血 液 学 P:生 理 学

I:免 疫 学 G:遺伝子関連分野

O:そ の 他

共同研究者ならび研究テーマの分担内容(共同研究のみ記入)

(氏名・年齢・最終卒業学校・所属機関・現職・学位・分担項目を記入)

公益信託 臨床検査医学研究振興基金
令和7年度「研究奨励金」授与候補者申請書(記入例.2)

候補者氏名(ふりがな)

やま だ はな こ
山 田 花 子

自署で
お願いします。

印

生年月日(西暦で記入してください。)

1979 年 8 月 25 日生(満 46 歳)

*共同研究の場合は代表者氏名を記入し、別項(下段、共同研究者欄)に共同研究者に関する事項を記入してください。

現 職(主たる勤務先、所属、役職名)

国際第二病院 検査部 臨床検査技師主任

学 位 学士(保健衛生学)

資 格(医師・臨床検査技師・臨床検査専門医・その他学術団体が認定する資格)

臨床検査技師免許(2001年取得)、認定臨床検査技師

学 歴(専修学校以上を西暦で記入してください。)

1998 年 4 月 国際医療技術専門学校 臨床検査技師科入学

2001 年 3 月 同校卒業

年 月

年 月

最終卒業学校

放送 大学 (2006 年 3 月 卒業)

大学院 (年 月 修了)

職 歴(西暦で記入してください。)

2001 年 4 月～ 2004 年 3 月 国際大学第一病院 検査部 臨床検査技師

2004 年 4 月～ 2008 年 3 月 国際大学第二病院 検査部 臨床検査技師

2008 年 4 月～現在に至る年 月 同院検査部 臨床検査技師主任

年 月～ 年 月

年 月～ 年 月

年 月～ 年 月

臨床検査業務とのかかわりを具体的に記入してください。

生化学検査室で臨床検査に従事

所属学会

日本医学検査学会・日本臨床化学会

研究題目

研究分野(次の中から該当するものを原則として1つ選び、○印をしてください。ただし、必要な場合は複数も可。)

プリン代謝異常症の
病態生化学的研究

○C:生 化 学

M:微 生 物 学

H:血 液 学

P:生 理 学

I:免 疫 学

G:遺伝子関連分野

O:そ の 他

共同研究者ならび研究テーマの分担内容(共同研究のみ記入)

(氏名・年齢・最終卒業学校・所属機関・現職・学位・分担項目を記入)

公益信託 臨床検査医学研究振興基金
令和7年度「研究奨励金」授与候補者申請書

候補者氏名(ふりがな)

生年月日(西暦で記入してください。)

印

年 月 日生(満 歳)

* 共同研究の場合は代表者氏名を記入し、別項(下段、共同研究者欄)に共同研究者に関する事項を記入してください。

現 職(主たる勤務先、所属、役職名)

学 位

資 格(医師・臨床検査技師・臨床検査専門医・その他学術団体が認定する資格)

学 歴(専修学校以上を西暦で記入してください。)

年 月

年 月

年 月

年 月

最終卒業学校

大学

(年 月 卒業)

大学院

(年 月 修了)

職 歴(西暦で記入してください。)

年 月～ 年 月

年 月～ 年 月

年 月～ 年 月

年 月～ 年 月

年 月～ 年 月

年 月～ 年 月

臨床検査業務とのかかわりを具体的に記入してください。

所属学会

研究題目	研究分野(次の中から該当するものを原則として1つ選び、○印をしてください。ただし、必要な場合は複数可。)
	C：生 化 学 M：微 生 物 学
	H：血 液 学 P：生 理 学
	I：免 疫 学 G：遺伝子関連分野
	O：そ の 他

共同研究者ならび研究テーマの分担内容(共同研究のみ記入)
(氏名・年齢・最終卒業学校・所属機関・現職・学位・分担項目を記入)

候補者が現在まで受けた研究助成

(授与年度・研究テーマ・奨励団体名・共同研究者・助成金額を記入。なお、共同研究の場合、代表研究者に○あるいは下線を付してください。
ご本人が代表研究者の場合、ご本人の名前も記入願います。)

研究内容(研究成果を臨床検査医学分野にどのように応用するかを含めて詳細に記入してください。)

本研究に関する計画

【研究計画】

期 間

研究内容

【費用計画】

費用科目

予定金額（単位：万円）

合計

万仞

うち助成希望額

万仞

本研究の為、参考にした主な文献（著者・標題・誌名・巻・号・ページ・年号を明記してください。）

臨床検査および本研究に関連した現在までの候補者の主な論文(10編程度を記載願います。)

(専門誌に発表済のものは、著者・標題・誌名・巻・号・ページ・年号を明記し、共同研究の場合は著者をすべて記入し、授与候補者は太字で記入してください。書ききれない場合は、次ページを使用してください。※論文の別刷またはコピーの添付は不要)

推薦理由

推薦者

氏名

所属

職位

所在地 〒

必ず自署でお願いします。

必ず記入してください。

必ず記入してください。

印

(候補者の所在地と異なる場合は記入してください。)

申請者連絡先

氏名

所属

所在地 〒

TEL

eメールアドレス

本施設所属の上記研究者がこの研究奨励金の申し込みをすることを承諾いたします。

所属施設長

氏名

所属施設長とは…

研究奨励金を受けることとなった場合、研究奨励金の対象となった研究を行うにあたり、研究実施の許可を付与できる方

職印

2025年 月 日

反社会的勢力でないことの表明・確約書 (研究奨励金候補者)

公益信託臨床検査医学研究振興基金 受託者みずほ信託銀行株式会社 あて

1. 私は、自らが、暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロまたは特殊知能暴力集団等、その他これらに準ずる者（以下これらを「暴力団員等」という。）に該当しないこと、および次の各号のいずれにも該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを確約いたします。
 - (1) 暴力団員等が経営を支配していると認められる関係を有すること
 - (2) 暴力団員等が経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること
 - (3) 自己、自社もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を加える目的をもってするなど、不当に暴力団員等を利用していると認められる関係を有すること
 - (4) 暴力団員等に対して暴力団員等であることを知りながら資金を提供し、または便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること
 - (5) 役員または経営に実質的に関与している者が暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有すること
2. 私は、自らまたは第三者を利用して次の各号の一にでも該当する行為を行わないことを確約いたします。
 - (1) 暴力的な要求行為
 - (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為
 - (3) 取引に関して、脅迫的な言動をし、または暴力を用いる行為
 - (4) 風説を流布し、偽計を用いまたは威力を用いて信託受託者であるみずほ信託銀行株式会社の信用を毀損し、または信託受託者であるみずほ信託銀行株式会社の業務を妨害する行為
 - (5) その他前各号に準ずる行為
3. 私は、自らが暴力団員等もしくは第1項各号のいずれかに該当し、もしくは前項各号のいずれかに該当する行為をし、または第1項の規定にもとづく表明・確約に関して虚偽の申告をしたことが判明したときは、受託者からの通知によりこの公益信託からの助成金の交付が停止・廃止されても一切の異議を申し立てず、受託者からの求めに応じて、既にこの公益信託から受給した助成金の全額を直ちにこの公益信託に返還いたします。
また、これにより費用または損害が生じた場合でも、私の責任として、賠償ないし補償を求めないものといたします。

西暦 2025 年 月 日

<研究奨励金候補者>

住 所 (ご自宅) 〒 —

氏 名 (自署)

印

(生年月日 (西暦) 年 月 日)

公益信託 臨床検査医学研究振興基金

令和7年度「藤田 光一郎賞」顕彰候補者応募要項

1. 目 的

臨床検査医学、とくに臨床検査室の管理運営（laboratory management）分野において、顕著な功績があった臨床検査専門家を顕彰する。

2. 名 称

「藤田 光一郎賞」

3. 顕彰金額

毎年1名50万円

4. 対象者

臨床検査医学を専攻し、臨床検査業務に永年にわたり従事し、とくに臨床検査室の管理運営の分野において、研究、創意、工夫、質改善等に関連して顕著な成果を挙げた者とする。原則として、定年退職後、その業績が確立した時点に顕彰する。ただし、叙勲および褒章の受章者は除く。

5. 推薦方法

推薦者は、所定の令和7年度「藤田光一郎賞」顕彰候補者推薦書に候補者氏名^{ふりがな}の他、必要事項を全て記入のうえ、下記の事務局あて送付してください。

推薦者（氏名）欄は、必ず推薦者の 自署(サイン) をお願いします。

*推薦書の電子ファイル（.xls）をご希望の方は、下記ホームページより藤田賞推薦用紙をダウンロードしてご使用ください。

「H.U.GROUP」ホームページ

<https://www.hugp.com/promotionfund/guideline.html>

6. 締切日

令和7年6月20日（金） 事務局必着

7. 選考方法

本基金の運営委員会において決定する。

8. 顕彰金の贈呈

令和8年2月（予定）

9. 推薦書送付先

〒100-8241

東京都千代田区丸の内1-3-3

みずほ信託銀行株式会社 ウェルスマネジメント推進部 信託業務開発チーム

「公益信託 臨床検査医学研究振興基金」事務局

電話 03 (6631) 7640

E-mail : koueki.tb@mizuhob.co.jp

以 上

令和7年4月

公 益 信 託 臨 床 検 査 医 学 研 究 振 興 基 金

Charitable Trust Laboratory Medicine Research Foundation of Japan

信託管理人 登 勉

運営委員長 高 木 康

公益信託 臨床検査医学研究振興基金
令和7年度「藤田 光一郎賞」顕彰候補者推薦書

公益信託 臨床検査医学研究振興基金
運営委員会 殿

年 月 日

[illegible]

研究奨励金授与名簿

[所属・職位等については授与時のものです]

臨床病理学研究振興会

第1回 (昭和56年度)

1. 赤血球膜ならびにリポタンパク質の病態生化学的研究……………
岐阜大学医学部附属病院検査部 助手 医学博士 飯田 久也、他
2. 血清アミノペプチターゼの多様性の解析に関する研究……………
浜松医科大学附属病院検査部 技官 神田 進司、他
3. 第Ⅷ因子関連抗原の凝血学的検索について……………
東京医科大学臨床病理学教室 大学院生 羽田 雅夫、他
4. 抗甲状腺自己抗体測定 of 臨床的意義……………
大阪大学医学部臨床検査診断学教室 講師 網野 信行
5. ヒト α 1-microglobulin の基礎的研究およびその臨床的応用……………
自治医科大学臨床病理学教室 助手 伊藤 喜久、他

第2回 (昭和57年度)

1. 新しい血液凝固線溶系制御物質、protein C およびそのインヒビターに関する病態生化学的研究……………
三重大学医学部附属病院検査部 講師 薬学博士 鈴木 宏治
2. 血漿ソマトスタチンの測定法の開発とその臨床的意義……………
徳島大学医学部附属病院検査部 助手 医学博士 斎藤 晴比古
3. 酵素・免疫グロブリン結合体の病態とその機構の解明ならびにマスキングのための手技の開発……………
山口大学医学部附属病院検査部 助手 医学博士 服部 幸夫
4. 糖尿病患者血清中に出現するマクロファージおよび人リンパ球の異物認識を阻害するグリコサミノグリカンに関する研究……………
名古屋保健衛生大学衛生学部臨床化学 助教授 薬学博士 長村 洋一、他
5. 嫌気性球菌および微好気性レンサ球菌の分類の再編成……………
岐阜大学医学部微生物学講座 助手 医学博士 江崎 孝行、他
6. Guanine deaminase の測定法ならびにアイソエンザイム検出法の開発と肝疾患におけるその臨床的意義……………
大阪府立病院第二研究検査科生化学室 技術吏員 一級臨床病理技術士 西川 洋子、他

第3回 (昭和58年度)

1. 痛風を含めたプリン代謝異常症の病態生化学的研究……………
虎の門病院臨床化学検査部 検査士 小島 司、他
2. Aortocoronary bypass graft 血流の非侵襲的連続的評価とその応用—超音波断層エコー Doppler 法による分析—……………
国立循環器病センター生理機能検査部 医長 医学博士 宮武 邦夫、他
3. 化学発光反応を応用した臨床化学検査法の研究……………
東京大学医学部附属病院中央検査部生化学検査室 臨床検査技師 薬剤師 真重 文子、他
4. Creatine kinase isoenzyme MM の subbands に関する研究……………
昭和大学医学部臨床病理学教室 助教授 医学博士 五味 邦英、他
5. 酵素利用技術の臨床検査診断学への応用……………
名古屋大学医学部附属病院検査部 講師 医学博士 高阪 彰
6. モノクローナル抗体法の臨床化学への応用—先天性代謝異常欠損酵素について—……………
琉球大学医学部保健学科保健生化学教室 助教授 医学博士 真栄平 房子
7. 骨髄腫における免疫調節機構の異常に関する研究……………
北里大学医学部臨床病理学教室 チーフレジデント 船渡 忠男、他

第4回 (昭和59年度)

1. モノクローナル抗体および共通抗原を用いたキャンピロバクター感染症の迅速診断法の開発……………
昭和大学医学部附属藤が丘病院臨床病理科 助教授 医学博士 中村 良子、他
2. 重症肝疾患に伴う DIC 症候群の凝血学的診断指標の確立……………
横須賀共済病院中央検査科 技師長 鈴木 節子、他

3. ミトコンドリアC Kの病態生化学的研究.....
昭和大学医学部臨床病理学教室 助手 医学博士 鴉 澤 龍 一、他
4. 赤血球異常症の自動診断システム開発に関する研究.....
大阪市立大学医学部臨床検査医学教室 講師 医学博士 巽 典 之、他
5. 体プレチスモグラフ法による箱外ガス安静呼吸時の気道抵抗連続測定法の研究.....
金沢医科大学臨床病理学教室 助手 福 永 寿 晴、他
6. 血液成分内の微量金属分布に関する研究.....
神奈川県立衛生短期大学臨床化学教室 助手 薬学博士 牧 野 鉄 男、他
7. 生体情報（心電図R—R間隔および脈波）の周波数解析よりみた自律神経機能検査の評価.....
岩手医科大学臨床検査医学講座 講師 医学博士 中 居 賢 司、他

第 5 回（昭和60年度）

1. リンフォカイン測定法の開発とその臨床応用.....
自治医科大学臨床病理学教室 助手 向 田 直 史、他
2. 血液細胞の糖鎖抗原のモノクローナル抗体を用いた研究.....
京都大学医学部臨床検査医学講座 講師 医学博士 神奈木 玲 児、他
3. 嫌気性菌のメトロニダゾール感受性因子に関する研究.....
聖マリアンナ医科大学臨床検査医学教室 助手 成 川 新 一
4. コーチゾール産生異常症の検査診断学的研究.....
新潟大学医学部検査診断学講座 講師 医学博士 中 村 二 郎、他
5. 大規模な臨床検査データベースを活用した新しい病態解析法の開発、下垂体甲状腺系の潜在的病態構造の解明.....
大阪大学医学部臨床検査診断学教室 講師 医学博士 市 原 清 志
6. ボラス法を利用した肺血流分布測定に関する研究.....
広島大学医学部附属病院検査部 助手 医学博士 有 田 健 一、他
7. モノクローナル抗体ロゼット法の開発とその臨床医学への応用.....
慶応義塾大学医学部附属病院中央臨床検査部 主任（代）高 田 肇、他
8. 乳酸脱水素酵素サブユニット欠損症における変異サブユニットの研究.....
浜松医科大学附属病院検査部 助手 医学博士 須 藤 加代子、他

第 6 回（昭和61年度）

1. 間脳—下垂体ホルモン分泌調節機能に関する臨床病理学的研究.....
金沢大学医学部臨床検査医学教室 助教授 医学博士 橋 本 琢 磨、他
2. H L A クラス II β 鎖における疾患感受性遺伝子の解明.....
防衛医科大学校附属病院検査部 助手 小 林 賢、他
3. アポリポ蛋白Eレセプターによるリポ蛋白摂取の調節機構—アポリポ蛋白E—A II 複合体の意義について.....
信州大学医学部附属病院中央検査部生化学検査室 衛生検査技師 文部技官 日 高 宏 哉、他
4. 遺伝的組換えウイルスの利用によるウイルス中和試験を必要としない迅速なロタウイルスの血清型別診断法の開発に関する研究.....
秋田大学医学部附属病院中央検査部 助教授 医学博士 中 込 治
5. 血小板内カルシウム動態測定の臨床応用.....
北海道大学医学部附属病院検査部 講師 医学博士 松 野 一 彦、他
6. リボソームによる補体価測定法.....
福岡大学医学部微生物学教室 助手 医学博士 岡 田 則 子
7. Heparin Cofactor II の病態生化学に関する研究.....
富山医科薬科大学医学部附属病院中央検査部 助教授 医学博士 高 橋 薫、他
8. 血清 Adenosine Deaminase の病態生化学的研究.....
千葉県がんセンター臨床検査部 医長 倉 田 矩 正、他

第 7 回（昭和62年度）

1. カプトガニ凝固酵素G因子系を用いた真菌血症早期診断薬の開発.....
自治医科大学臨床病理学教室 講師 医学博士 大 林 民 典

2. 炎症性疾患における末梢血好中球による血小板活性化因子合成能の変化および起因物質の検索……………
山梨医科大学附属病院検査部 助手 医学博士 尾崎 由基男
3. 未知のHLA抗原をコードする遺伝子のクローニングとその形質転換細胞を免疫原としたモノクローナル抗体の作製…
慶応義塾大学医学部附属病院中央臨床検査部 臨床免疫 臨床検査技師 園田 啓、他
4. 高脂血症、動脈硬化症におけるアポリポ蛋白の異常に関する研究—日本人のアポリポ蛋白変異種の実態—……………
国立循環器病センター研究所病因部動脈硬化研究室 室長 医学博士 山村 卓
5. 血栓準備状態の予知と診断の線維素溶解反応系からの解析……………
自治医科大学血液医学研究部門止血血栓 講師 医学博士 坂田 洋一
6. 尿、脳脊髄液微量蛋白分画法の開発および臨床応用……………
東京大学医学部附属病院中央検査部 文部技官 臨床検査技師 渡辺 信子、他
7. ライム病の免疫血清診断に関する研究……………
日本大学医学部臨床病理学教室 講師 医学博士 川端 真人、他
8. 情報処理技術による正常値の見直しと診断論理の確立……………
新潟大学医学部検査診断学教室 助教授 医学博士 岡田 正彦
9. 生体拍動心における超音波組織性状診断に関する研究……………
香川医科大学附属病院検査部 助手 医学博士 藤原 誠、他

第8回（昭和63年度）

1. 単球分泌アポリボタンパクEに関する研究—動脈硬化との関係について—……………
昭和大学医学部臨床病理学教室 助教授 医学博士 高木 康、他
2. 急性未分化白血病におけるMPO（ミエロペルオキシダーゼ）遺伝子の発現動態……………
神戸大学医学部臨床検査医学講座 講師 医学博士 巽 英二、他
3. 非放射性標識核酸プローブによる感染症の診断— in situハイブリダイゼーションの全自動化—……………
横浜市立大学医学部細菌学教室 助教授 医学博士 高橋 豊三、他
4. 甲状腺ホルモン結合異常症（新型）をモデルにしたアルブミンの機能異常に関する研究……………
大阪大学医学部臨床検査診断学教室 助手 医学博士 藪 由紀子
5. ヒト第Ⅶ因子モノクローナル抗体を用いた異常第Ⅶ因子の病態研究……………
国立大阪病院臨床検査科血液検査 主任 高宮 脩
6. ハイブリドーマ由来マウス・モノクローナル・リウマトイド因子を利用した免疫複合体測定法の開発……………
東京大学医学部臨床検査医学教室 講師 医学博士 吉野谷 定美
7. 抗腫瘍の血中ならびに腫瘍細胞内濃度に関する研究— anthracycline 系薬剤の血中細胞内動態と clinical response との相関の解析—
防衛医科大学校附属病院検査部 講師 医学博士 竹村 譲
8. リポ蛋白（a）〔LP（a）〕の病態生化学的研究……………
岐阜大学医学部臨床検査医学教室 助手 文部教官 医学博士 安部 彰、他
9. 血清可溶性HLA抗原の測定法確立と消化器病におけるその動態……………
香川医科大学附属病院検査部 助手 医学博士 寺田 総一郎、他

公益信託 臨床検査医学研究振興基金 ※平成15年4月 公益信託 臨床病理学研究振興基金より名称変更。

平成元年度

1. 神経回路網モデルと知識処理を融合した波形認識技術の開発……………
東京医科歯科大学医学部臨床検査医学教室 助手 医学博士 松戸 隆之
2. 遺伝子多型性を利用した本態性高血圧病因遺伝子の検索……………
島根医科大学附属病院検査部 助手 医学博士 並河 徹、他
3. von Willebrand 病の遺伝子解析……………
慶応義塾大学医学部附属病院中央臨床検査部血液検査室 助手 医学博士 川合 陽子
4. 糖鎖性腫瘍マーカー検査への抗イディオタイプ抗体の応用……………
日本学術振興会 特別研究員 医学博士 銭田 晃一、他

5. ヒト肝臓アルギナーゼに対する酵素免疫測定法の開発およびその病態解析について……………
京都大学医療技術短期大学部衛生技術学科 一級臨床病理技術士 助手 池 本 正 生、他
6. 病態時のチトクロームP-450アイソザイム誘導とその生化学的特性ならびに発現機序—糖尿病、慢性腎不全、高血圧モデル動物における検討—…
大阪市立大学医学部臨床検査医学教室 助手 医学博士 下 条 信 雄、他
7. 真菌感染症の免疫血清学的診断法に関する基礎的・臨床的検討……………
金沢大学医学部附属病院検査部 助手 医学博士 藤 田 信 一
8. 組織因子—第Ⅶ因子複合体インヒビターに関する病態生化学的研究……………
神戸大学医学部附属病院中央検査部 講師 医学博士 近 藤 信 一
9. ヒトユテログロビンの基礎的研究および臨床検査医学への応用……………
聖マリアンナ医科大学臨床検査医学教室 助手 農学博士 菊 川 忠 裕

平成2年度

1. 遺伝子増幅法を用いた臨床微生物の直接同定法についての研究……………
東京慈恵会医科大学臨床検査医学教室 助手 医学博士 保 科 定 頼、他
2. 乳酸脱水素酵素A (M) サブユニット欠損症の遺伝子レベルでの研究……………
浜松医科大学附属病院検査部 助手 医学博士 前 川 真 人
3. 自己免疫疾患における補体第4成分の遺伝子操作を用いた病因解明の試み……………
防衛医科大学校附属病院輸血部 助手 阿 藤 みや子、他
4. スフィンゴ脂質代謝異常症の病態生化学的研究……………
愛媛大学医学部神経精神医学教室 助手 医学博士 佐 野 輝
5. 判断分析に基づく臨床検査の利用指針の策定に関する研究……………
山口大学医学部附属病院医療情報部 講師 医学博士 井 上 裕 二、他
6. LDH結合性免疫グロブリンの病態および結合様式に関する研究……………
花園病院研究検査科 科長 藤 田 清 貴、他
7. XⅢ因子A蛋白の構造と機能の解析……………
東京医科大学付属病院臨床病理科 講師 医学博士 依 藤 壽、他
8. 悪性リンパ腫鑑別法の開発……………
高知医科大学実験実習機器センター 助教授 医学博士 谷 口 武 利、他
9. コルチゾールに対する反応異常症（抵抗症と過敏症候群）におけるグルココルチコイド受容体の分子遺伝学的解析…
大阪大学医学部第二内科 助手 医学博士 飯 田 さよみ、他
10. フローサイトメトリーによる細胞内pHの測定、ならびにリンパ球サブセット間の活性化の異同と病態との関連…
杏林大学医学部臨床病理学教室 助教授 医学博士 中 原 一 彦、他

平成3年度

1. プラスミノゲン・アクチベータ・インヒビター2の構造と機能の解析……………
富山医科薬科大学医学部臨床検査医学教室 助教授 医学博士 新 谷 憲 治
2. 抗体側の糖鎖の違いから見た免疫グロブリン結合酵素の代謝回転と病態……………
埼玉医科大学短期大学臨床検査医学教室 助教授 薬学博士 小 山 岩 雄、他
3. 脂肪酸結合蛋白をマーカーとした細胞障害の新しい臨床検査……………
新潟大学医学部生化学第二講座 助手 医学博士 人 見 雅 浩、他
4. 臨床検査データの施設間誤差変動の解析および施設間差是正のための方法論の構築……………
山梨医科大学附属病院検査部 技師長 細 萱 茂 実、他
5. PCR法を用いた白血病薬剤耐性検査法の臨床応用……………
東海大学医学部臨床病理学教室 助手 医学博士 宮 地 勇 人、他
6. 組織浸潤リンパ球サブセット測定による自己免疫性甲状腺疾患の病因・病態解析……………
大阪大学医学部臨床検査診断学講座 講師 医学博士 岩 谷 良 則
7. 非アイソトープ的方法による遺伝子点変異スクリーニング法の開発……………
自治医科大学分子生物学教室 講師 西 田 淳 二、他

8. 経食道心エコー図のコンピュータ処理による肥大心の病態生理学的解析と予後判定指標の確立……………
京都大学医学部臨床検査医学教室 講師 医学博士 小坂田 元 太
9. 先天性血栓性素因の病態解析—新しい異常アンチトロンビンⅢ (ATⅢ) の分子病理学的研究—……………
熊本大学医学部臨床検査医学教室 助手 医学博士 岡 嶋 研 二、他
10. TSH受容体の部分構造を有する合成ペプチドによる自己免疫性甲状腺疾患の診断および治療に関する研究……………
京都大学医学部臨床検査医学教室 助手 医学博士 須 川 秀 夫、他

平成4年度

1. apoE-rich HDLの病態生化学的研究……………
北海道大学医学部附属病院検査部 講師 千 葉 仁 志
2. ヘモグロビン異常 (特にサラセミア) の遺伝子解析と分析法の確立……………
山口大学医療技術短期大学部衛生技術学科 助手 山 城 安 啓
3. モノクローナル抗体と遺伝子発現ライブラリを用いた血小板、巨核球膜蛋白の解析……………
埼玉医科大学総合医療センター輸血部 講師 医学博士 松 木 一 雅、他
4. 自己免疫甲状腺疾患における自己抗体産生免疫グロブリン遺伝子の研究……………
京都大学医学部臨床検査医学教室 助手 医学博士 赤 水 尚 史、他
5. 血清酵素・免疫グロブリン複合体の免疫化学的解析と臨床的意義……………
旭川医科大学附属病院検査部 主任技師 森 山 隆 則
6. 細胞内鉄キレートに伴うc-mycおよびc-fos発現増強の機序の解明……………
昭和大学医学部臨床病理学教室 講師 医学博士 福 地 邦 彦
7. PCR法によるアスペルギルス症のDNA診断……………
山形大学医学部第一内科 助手 医学博士 中 村 秀 範、他
8. 本態性高血圧症の血小板膜Mg透過性の研究—Ca動態との関連—……………
広島大学医学部臨床検査医学教室 講師 医学博士 大 島 哲 也
9. 総合検査診断エキスパートシステムの開発……………
東京医科歯科大学臨床検査医学教室 助手 西 堀 眞 弘
10. Wilms腫瘍における遺伝子変異と組織像との関連……………
慶応義塾大学医学部附属病院中央臨床検査部 助手 菊 池 春 人、他

平成5年度

1. ヒト抗組織因子抗体を用いた組織因子の機能発現の分子機構の解明……………
九州大学医学部附属病院検査部 助手 医学博士 津 田 博 子、他
2. 新規トリプトファン関連物質測定の臨床検査領域における意義……………
浜松医科大学附属病院検査部 助手 医学博士 米 川 修、他
3. 高感度光量子検出計と化学発光による病原細菌の定量的検出同定システムの開発……………
岐阜大学医学部微生物学講座 助手 水産学博士 山 本 啓 之
4. 白血病の遺伝子診断の日常検査診断化の研究……………
東京大学医学部附属病院検査部 講師 医学博士 北 村 聖
5. 前癌状態での糖鎖抗原発現の特性と、肺癌早期診断、細胞診自動化への応用……………
昭和大学医学部臨床病理学教室 助手 医学博士 木 村 聡、他
6. Polymerase chain reaction法を用いた胃生検組織による胃原発悪性リンパ腫の遺伝子診断……………
弘前大学医学部病理学第一教室 医員 医学博士 和 田 龍 一
7. 定量的運動負荷法適用による糖尿病性腎症鑑別の試み……………
東京慈恵会医科大学臨床検査医学教室 講師 医学博士 鈴 木 政 登、他
8. アポA-IVの生理的機能に関する研究……………
岐阜大学医学部臨床検査医学教室 助手 医学博士 清 島 満
9. 抗HTLV-1抗体陰性キャリアーの存在に関する研究……………
宮崎医科大学附属病院輸血部 講師 近 藤 誠 司、他

10. T S H受容体抗体測定の国際的標準化と新生児甲状腺機能異常発症予測基準確立への応用……………
大阪大学医学部臨床検査診断学教室 講師 医学博士 玉 置 治 夫
11. 血球細胞におけるヒトサイトメガロウイルス感染に関する研究……………
札幌医科大学小児科 助手 医学博士 沼 崎 啓
12. 赤血球膜蛋白異常症における分子異常の解析と遺伝子診断法の開発……………
福岡大学医学部臨床検査医学教室 助教授 医学博士 井手口 裕
- 平成6年度**
1. 非放射性 PCR-SSCP 法を用いた家族性高コレステロール血症者のLDLレセプター異常 遺伝子診断スクリーニング法の開発…
鹿児島大学医学部臨床検査医学教室 助教授 医学博士 北 島 勲、他
2. T N F誘発性血管内皮細胞障害の発症機序とその制御……………
宮崎医科大学臨床検査医学講座 講師 医学博士 古 賀 震、他
3. 競合P C R法による定量的な抗腫瘍剤耐性検査法の開発……………
防衛医科大学校附属病院検査部 助手 医学博士 小 林 広 幸、他
4. 超音波を用いた肝内鉄量の非侵襲的計測法に関する研究……………
自治医科大学臨床病理部 病院助手 川 井 夫規子、他
5. 新しいD N A結合性蛋白質 Nucleobindin のマウスおよびヒトにおける発現と病態との関連……………
東京医科歯科大学医学部保健衛生学科 助教授 医学博士 窪 田 哲 朗、他
6. ヘリコバクター・ピロリ菌の遺伝子多型性と疾患多様性に関する研究……………
札幌医科大学附属病院検査部 講師 医学博士 杉 山 敏 郎
7. 老人施設内感染症の分子疫学的研究……………
名古屋大学医学部附属病院検査部 講師 医学博士 一 山 智、他
- 平成7年度**
1. 急性白血病の細胞特性の検査の研究……………
東京医科歯科大学医学部臨床検査医学講座 助手 医学博士 東 田 修 二、他
2. 高感度抗体測定法によるバセドウ病の発症予測とその予防……………
大阪大学医学部臨床検査診断学講座 講師 医学博士 日 高 洋
3. 糖蛋白ホルモン受容体異常の遺伝子診断……………
京都大学医学部臨床検査医学教室 助手 医学博士 小 杉 眞 司、他
4. HDLのconversionにおけるコレステリルエステル転送蛋白およびリパーゼの役割について……………
新潟大学医学部附属病院検査部 講師 医学博士 三井田 孝、他
5. H L Aクラス I抗原のD N Aタイピングの開発……………
東海大学医学部分子生命科学 研究員 成 瀬 妙 子、他
6. インターロイキン-8 (IL-8) の冠動脈硬化症および解離性大動脈瘤の早期診断と治療への応用……………
群馬大学医学部臨床検査医学教室 助手 医学博士 神 田 享 勉、他
7. インターネットによる臨床検査データの伝送と基準値および精度管理データベース・サーバの研究……………
浜松医科大学附属病院医療情報部 助手 薬学博士 谷 重 喜
- 平成8年度**
1. 転写因子疾患PITI異常症の病因解析……………
大阪大学医学部臨床検査診断学講座 助手 医学博士 巽 圭 太
2. ラットおよびヒト腎糸球体における各種脂質結合蛋白の生化学的、組織学的検討……………
福井医科大学附属病院検査部 助手 医学博士 木 村 秀 樹、他
3. リコンビナントミトコンドリア自己抗原発現クローンの確立と新たな抗ミトコンドリア抗体測定法の開発に関する研究…
日本大学医学部臨床病理学教室 助手 医学博士 茂 木 積 雄、他
4. 心拍変動解析と自律神経機能評価の生化学的指標……………
京都府立医科大学臨床検査医学教室 講師 医学博士 羽 渕 義 純

5. ファブリー病 (α -ガラクトシダーゼ欠損症) の分子病理の解明—患者由来変異遺伝子の発現ならびに細胞内 α -ガラクトシダーゼ活性消失機序の解析—
高知医科大学臨床検査医学講座 助手 保険学修士 奥 宮 敏 可、他
6. 末梢血幹細胞の効率的な採取のための指標となる検査法の検索……………
愛知県がんセンター病院臨床検査部 技師 臨床検査技師 岡 田 恭 孝、他

平成9年度

1. 成人T細胞白血病細胞に発現する細胞接着糖鎖の合成の転写調節機構と臨床病態の関連の分子生物学的研究……………
愛知県がんセンター病理学第二部 主任研究員 医学博士 平 岩 望、他
2. 血漿スフィンゴシン—1—リン酸の生理的・病態生理的意義に関する研究……………
山梨医科大学臨床検査医学講座 助教授 医学博士 矢 富 裕、他
3. 血清アミロイドA蛋白の遺伝、表現型とアミロイド原性に関する研究……………
自治医科大学臨床病理学教室 講師 医学博士 山 田 俊 幸
4. 甲状腺癌の穿刺吸引遺伝子診断法の開発……………
大阪大学医学部臨床検査診断学講座 助手 医学博士 高 野 徹
5. 感染症研究ネットワーク作成とそれに基づく多剤耐性菌の分子疫学的研究……………
東京女子医科大学中央検査部感染対策科第二内科 助手 医学博士 菊 池 賢、他
6. 先天性甲状腺機能低下症における甲状腺ペルオキシダーゼの解析……………
宮崎医科大学附属病院検査部 副技師長 梅 木 一 美、他
7. アルブミン尿を引き起こす遺伝因子・環境因子の研究……………
東京大学医学部附属病院検査部 講師 医学博士 橋 本 佳 明、他
8. 肥満及び糖尿病の病態生理に対するレプチン (ob遺伝子産物) の関与に関する研究……………
徳島大学医学部臨床検査医学講座 助手 医学博士 村 上 尚、他

平成10年度

1. 糖尿病性腎障害進展機構におけるバゾプレシン遺伝子多型の関与に関する研究……………
弘前大学医学部臨床検査医学講座 講師 医学博士 庄 司 優
2. NK細胞およびマクロファージの新しい機能測定法の開発……………
関西医科大学病態検査学講座 講師 薬学博士 医学博士 榊 田 緑
3. 動脈硬化マーカーとしての血清HGF濃度ならびに単球内HGF mRNAについての臨床検査医学的検討……………
京都府立医科大学臨床検査医学教室 講師 医学博士 西 村 眞 人
4. TFP I の臓器障害保護作用の解明……………
熊本大学医学部臨床検査医学講座 助手 村 上 和 憲、他
5. 高次脳機能障害の神経生理学的研究……………
京都大学医学部附属病院検査部 文部教官講師 医学博士 伊 藤 順 子

平成11年度

1. アシクロビル耐性ヘルペスウイルス感染症の迅速診断法の開発……………
旭川医科大学細菌学講座 助手 医学博士 錫 谷 達 夫
2. 血栓症発現に関与する抗血管内皮細胞自己抗体の臨床病理学的研究……………
東北大学医学部附属病院検査部 助手 医学博士 宗 像 靖 彦、他
3. ホスホジェステラーゼ3B遺伝子の転写活性化因子の同定と解析……………
愛媛大学医学部臨床検査医学 助教授 医学博士 大 澤 春 彦
4. がんの転移・浸潤におけるシアル酸を介した細胞接着活性調節機構の臨床病理学的意義……………
愛知県がんセンター病理学第二部 研究員 理学博士 金 森 審 子、他
5. 分泌型蛋白質の品質管理機構に関する研究—先天性血液凝固異常症をモデルとして—……………
富山医科薬科大学附属病院検査部 助手 医学博士 小 澤 哲 夫
6. 非アトピー型気管支喘息の起因抗原診断法の確立—サイトカイン産生検査システムの構築—……………
国立相模原病院臨床研究部 厚生技官 医学博士 森 晶 夫、他
7. 喫煙の末梢気道粘膜炎症に及ぼす影響：特に細気道上皮細胞のTGF β -1遺伝子発現と末梢気道閉塞について……………
東京大学医学部附属病院検査部 講師 医学博士 滝 沢 始、他

平成12年度

1. Immuno-PCR法による生体内微量サイトカインの高感度検出系の確立と臨床応用……………
札幌医科大学医学部臨床検査医学講座 助手 医学博士 小林 大 介
2. 転写因子GATA-1の遺伝子変異による白血病発症の分子メカニズムの解析……………
東北大学医学部附属病院検査部 助手 医学博士 張 替 秀 郎
3. 白血病細胞の分化過程の解析と分化誘導の評価診断に関する研究……………
京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学 講師 医学博士 通 山 薫
4. 甲状腺腫患者におけるサイログロブリン遺伝子異常症の発生頻度と病因解析……………
獨協医科大学臨床検査医学 助教授、Ph.D、医学博士 日本臨床病理学会認定臨床検査医 菱 沼 昭
5. 家族性アミロイドポリニューロパチー (FAP) の診断、病態解析、及び治療……………
熊本大学医学部臨床検査医学 講師 医学博士 安 東 由喜雄
6. カルシウム・骨代謝異常症の分子的病因の解明……………
東京大学医学部附属病院分院検査部 講師 医学博士 福 本 誠 二
7. 組織ドップラー法を用いた心筋局所運動の解析、その臨床応用：
心内膜下梗塞およびアントラサイクリン心筋傷害診断における有用性の検討……………
東京大学大学院医学系研究科 大学院生 竹 中 克、他

平成13年度

1. 黄体化ホルモン (LH) β 鎖遺伝子の多発性点変異が排卵に及ぼす影響に関する研究……………
島根医科大学医学部附属病院検査部 主任臨床検査技師 保健衛生学士 狩 野 賢 二
2. ノックアウトマウスを用いた、循環器疾患の形成における炎症性サイトカインの役割に関する研究……………
岐阜大学医学部臨床検査医学講座 日本臨床検査医学会認定臨床検査専門医 助手 医学博士 和 田 久 泰
3. わが国における猫ひっかき病：Bartonella henselae以外のBartonella属の菌種の関与について……………
山口県厚生連長門総合病院検査科 山口大学大学院医学研究科在学 検査技師長 2級臨床病理技術士 細胞検査士 常 岡 英 弘、他
4. リコンビナントヒト正常・異常フィブリノゲンを用いたフィブリン線維形成機序の解析と合成ペプチドによるその抑制……………
信州大学医療技術短期大学部衛生技術学科 助教授 医学博士 臨床検査技師 奥 村 伸 生
5. 高Lp (a) 血症の病態の解明……………
福岡大学医学部臨床検査医学講座 助手 大久保久美子、他
6. 生物学的加齢の指標としてのテロメア長と酸化ストレス、血管内皮機能の関連についての研究～遺伝子レベルでの老化の診断の試み～
広島大学医学部附属病院 検査部 助手 医学博士 小 園 亮 次、他
7. 逆転写酵素阻害剤抵抗性B型肝炎ウィルスの遺伝子・生物学的特性解明と薬剤耐性テスト開発……………
富山医科薬科大学医学部臨床検査医学講座 助教授 医学博士 小 方 則 夫
8. 内因性Naポンプ抑制物質類の血中濃度測定法開発と臨床検査医学的意義—液体クロマトグラフィー・質量分析計を用いた解析—
関西医科大学 臨床検査医学講座 講師 薬学博士 医学博士 小 宮 山 豊

平成14年度

1. 血中monocarboxylate transporterの測定と、臨床検査項目としての有用性の基礎的検討……………
北海道大学大学院医学研究科病態医学分野 助手 医学博士 飯 塚 健 治、他
2. コラーゲンビーズカラム検査法の標準化とその新たな臨床応用……………
山梨大学医学部臨床検査医学講座 助手 医学博士 高 蓋 寿 朗
3. 広域 β -ラクタム薬耐性菌の迅速検出方法の開発とその臨床応用……………
北里大学医学部微生物・寄生虫学 講師 医学博士 岡 本 了 一、他
4. 神経芽腫および褐色細胞腫の良悪性度鑑別法の開発—発現遺伝子hTERTmRNA isoformの解析—……………
筑波大学臨床医学系臨床病理 講師 医学博士 磯 部 和 正、他
5. リポ蛋白中スフィンゴシン1-リン酸の抗動脈硬化作用の解析……………
群馬大学医学部附属病院検査部 医員 医学博士 木 村 孝 穂
6. ラムダファージ提示法を用いた慢性関節リウマチの自己抗原の解析……………
奈良県立医科大学総合医療病態検査学 講師 医学博士 藤 本 隆、他

7. MDR1mRNA特異的切断活性を持つDNA enzymeによる抗癌剤多剤耐性ヒト急性白血病細胞の治療：効果予測、評価システムの開発…
東海大学医学部内科系（臨床検査医学）大学院 大学院生 浅井 さとみ
8. 実験的1型糖尿病神経障害と神経成長障害との関連性：神経伝導機能と神経内インスリン受容体発現検出による検討…
弘前大学医学部附属病院検査部 講師 杉 本 一 博

平成15年度

1. マイクロスライドチューブを用いた新たなフローシステムによる血栓準備状態の解析…
山梨大学臨床検査医学講座 助手 浅妻 直 樹
2. 神経芽腫における新たな癌抑制遺伝子の検討…
三重大学医学部附属病院中央検査部 講師 医学博士 中 谷 中
3. ヘリコバクターピロリ固有の細胞分裂・増殖機構の解析とその臨床応用…
山口大学医学部保健学科 助手 医学博士 竹 内 啓 晃
4. Non-isotopic ligand binding assay法による細胞表面受容体の定量的検出…
浜松医科大学医学部臨床検査医学講座 助教授 医学博士 竹 下 明 裕、他
5. 表面プラズモンセンサーを用いた亜鉛コプロポルフィリンIおよびシアリルTnの測定法の確立…
浜松医科大学附属病院産婦人科 助手 大 井 豪 一、他
6. 多剤耐性結核菌における抗結核薬相乗効果の3次元解析…
琉球大学臨床検査医学分野 文部教官助手 潮 平 知 佳、他
7. 組織リモデリングに資する血漿因子HRGの分子機能解析と臨床病理学的意義…
岡山大学大学院医歯学総合研究科 助教授 学術博士 森 秀 治、他

平成16年度

1. 病院検査室導入に向けたLAMP技術応用による結核菌迅速検出法の開発…
藤田保健衛生大学病院臨床検査部 主任 臨床検査技師 北 原 公 明、他
2. 脳神経組織で産出されるアポリポ蛋白Eの代謝と β -Amyloidとの相互作用に関する研究…
信州大学医学部附属病院臨床検査部 工学博士 臨床検査技師長 山 内 一 由
3. 癌の生物学的悪性度に強く関わる染色体11q22-q23欠失領域における癌抑制遺伝子の同定と臨床検査への応用…
山口大学医学部特殊専門領域腫瘍病態学講座（臨床検査医学）助手 医学博士 末 廣 寛、他
4. 抗リン脂質抗体症候群の鑑別診断法の確立と血栓形成機序に関する研究…
大阪大学医学部附属病院臨床検査部 保健学博士 野 島 順 三
5. 全身性炎症反応症候群における重症度検査法の確立…
産業医科大学医学部分子生物学 助教授 医学博士 和 泉 弘 人、他
6. 造血器腫瘍の新たな予後因子および分子標的となる遺伝子異常の同定とその臨床応用…
京都府立医科大学大学院医学研究科分子病態検査医学 講師 医学博士 滝 智 彦
7. 表面プラズモン共鳴による血液型抗体測定法（SPR法）の確立およびSPR法の血液型不適合移植患者に対する応用…
京都大学医学部附属病院輸血細胞治療部 助手 医学博士 木 村 晋 也、他
8. 造血器悪性腫瘍患者における好中球減少期のマイクロアレイを用いた敗血症診断…
福井大学医学部附属病院第一内科 講師 医学博士 岩 崎 博 道、他

平成17年度

1. 癌の特異的分子治療の効果に影響を及ぼす遺伝子異常の検出および臨床応用可能な簡便な検査法の開発…
杏林大学医学部臨床検査医学 講師・医学博士 大 西 宏 明
2. 包括的プロテオーム解析を用いた消化器癌の新規腫瘍マーカーの開発…
千葉大学大学院・医学研究員・分子病態解剖学 朝 長 毅、他
3. CYP2A6とDPD遺伝子多型が抗癌剤TS-1治療に及ぼす影響…
浜松医科大学臨床検査医学 助手・医学博士 白 井 直 人、他
4. フローサイトメトリー法を用いた慢性リンパ性白血病細胞内ZAP-70およびリンパ系悪性腫瘍細胞内リン酸化蛋白発現の検出と臨床検査への応用…
順天堂大学医学部臨床病理学教室 臨床講師 田 部 陽 子、他

5. 腸球菌属一特にバンコマイシン耐性腸球菌の迅速同定法の開発と臨床応用……………
獨協医科大学臨床検査医学研究科 講師・医学博士・英国熱帯医学専門医 吉 田 敦
6. ADPビーズによる抗血小板薬の薬効モニタリング法の確立……………
山梨大学医学部・臨床検査医学講座 教務職員・医学博士 佐 藤 金 夫
7. 造血器腫瘍細胞における転写因子異常が化学療法の治療効果に及ぼす影響……………
筑波大学附属病院検査部 主任臨床検査技師・医学博士 南 木 融
8. 臨床より分離されたセフェム系薬耐性Proteus Mirabilisの耐性機構ならびに耐性遺伝子拡散機構の解析……………
北里大学大学院 ポストドクター・医学博士 中 野 竜 一、他
9. アデノウイルス結膜炎の分子生物学的な診断法と疫学解析法の確率……………
福島県立医科大学医学部微生物学講座 助手・医学博士 金 子 久 俊

平成18年度

1. ELISA法によるヒトメタニューモウイルス (hMPV) 抗体の測定法の確立と、成人における同ウイルスの再感染の疫学…
独立行政法人仙台医療センター臨床研究部ウイルスセンター 臨床検査技師 岡 本 道 子、他
2. 排便機能異常の病態生理学的研究と臨床的排便機能評価検査学の確立……………
秋田大学医学部統合医学講座臨床検査医学分野 助教授 萱 場 広 之
3. 磁気マーカーを用いたBF分離不要の超高感度免疫検査システムの開発……………
長崎国際大学薬学部臨床検査学教室 助手・医学博士 隈 博 幸
4. “血液サラサラモニター” MC—FAN測定の標準化と血液流動性低下に関する基礎検討……………
山梨大学大学院医学工学総合研究部臨床検査医学 講師・医学博士 井 上 克 枝、他
5. 新規甲状腺特異的遺伝子Tensin3に対する血中抗原・自己抗体測定系の確立……………
大阪大学医学部附属病院臨床検査部 主任検査技師・医学博士 前 田 育 宏
6. 酸化ストレス特異的miRNA及びタンパク質同定に関する研究……………
神戸大学医学部附属病院検査部 講師・医学博士 河 野 誠 司、他
7. 悪性リンパ腫の診断用DNAマイクロアレイの開発……………
愛知県がんセンター研究所遺伝子医療研究部 主任研究員 田 川 博 之

平成19年度

1. May-Hegglin異常における白血球封入体形成機序の解明……………
国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター 室長・医学博士 國 島 伸 治
2. 肺がんのDNAメチル化を用いた治療切除例における再発予測システム並びに、化学療法感受性予測システムの構築
東京大学医学部附属病院検査部 講師・医学博士 高 井 大 哉
3. 3次元解析を用いた新たな抗核抗体測定システムの確立……………
札幌医科大学医学部臨床検査医学講座 講師・医学博士 辻 直 樹
4. 新しい消化器生理機能検査法の確立に関する研究及び消化管運動機能異常のメカニズム解明に関する研究……………
岡山大学医学部附属病院中央検査部 講師・医学博士 水 島 孝 明
5. コラーゲンビーズカラムを用いた抗血小板剤モニターの標準化……………
東京大学医学部附属病院検査部 助教・医学博士 金 子 誠
6. 抗dsDNA抗体検査偽陽性患者の臨床像と抗dsDNA抗体の特徴……………
大阪医科大学第一内科 講師・医学博士 武 内 徹
7. 造血細胞移植後GVHDの診断における細胞傷害因子グランザイムBとその内因性抑制因子P1—9の役割……………
神戸大学医学部保健学科 助教・保健学博士 堀 江 修

平成20年度

1. 遺伝性褐色細胞腫・パラガングリオーマ症候群 (HPPS) の遺伝子解析の方法とその臨床的評価、および病因に関する研究…
筑波大学大学院病態検査医学人間総合科学研究科 准教授・医学博士 竹 越 一 博
2. 心臓超音波検査を用いた虚血心筋のパラメトリック表示法の開発……………
大阪大学臨床医工学融合研究教育センター 特任講師 (常勤) 医学博士 浅 沼 俊 彦、他

3. 新規上皮細胞分泌型サイトカインの腫瘍マーカーとしての臨床応用研究……………
京都府立医科大学消化器外科 外科医師 助教 医学博士 菊池 正二郎、他
4. 遺伝子変異特異的定量PCR法を用いた微小残存病変追跡法の臨床応用……………
信州大学医学部附属病院臨床検査部 主任臨床検査技師・医学博士 松田 和之、他
5. 日本における成人百日咳の実態調査……………
(株)江東微生物研究所 微研中央研究所つくば 第一検査部 臨床検査技師(認定技師) 大塚 正之
6. シグナルシーケンストラップ法を用いた新規蛋白抗原検出による接合菌症の早期診断法の開発……………
長崎大学医学部・歯学部附属病院第2内科 講師 掛屋 弘、他
7. 血小板凝集能検査の自動化に向けた取り組み……………
山梨大学大学院医学工学総合研究部 臨床検査医学 助教・医学博士 高野 勝弘
8. NKG2Dリガンドの皮膚がんマーカーへの応用……………
北海道大学大学院 保健科学研究院 助教・修士(医科学) 吉田 繁

平成21年度

1. 高精度質量分析計を用いた血液中超微量ペプチドの検出と新規腫瘍マーカーへの応用……………
千葉大学大学院医学研究院分子病態解析学・医学部附属病院検査部/遺伝子診療部 講師 医学博士 松下 一之
2. One-Step Multi-Genotyping法による市中感染型MRSAの迅速診断法……………
長崎大学病院検査部 講師 博士(医学)(長崎大学) 柳原 克紀
3. 悪性リンパ腫中枢神経浸潤の予測、診断指標としての脳脊髄液中miRNAの発現意義……………
東京大学医科学研究所先端医療研究センター分子療法分野 助教 医学博士 幸谷 愛、他
4. 抗血小板薬シロスタゾールの薬効評価系の構築……………
山梨大学医学部附属病院検査部 助教 博士(医学) 井上 修、他
5. 迅速・簡便・安価な敗血症起因菌同定ITシステムの開発……………
富山大学附属病院検査部 遺伝子・先進医療支援部門 助教・検査部副部長 博士(医学・論文)(鹿児島大学) 仁井見 英樹、他
6. 三次元経胸壁心エコー図を用いた卵円孔開存診断と三次元形態観察……………
岡山大学病院医療技術部検査部門 主任・臨床検査技師 学士(保健衛生学) 渡辺 修久
7. 生活習慣病におけるリポ蛋白の質的評価に関する研究……………
自治医科大学臨床検査医学 講師 博士(医学)(自治医科大学) 小谷 和彦
8. 心臓超音波検査法を用いたDuchenne型筋ジストロフィーの早期心筋病変の発見……………
神戸大学医学部附属病院検査部 臨床検査技師 山本 哲志、他

平成22年度

1. Helicobacter pylori菌体膜蛋白のH.Pylori関連慢性特発性血小板減少性紫斑病発症への関与……………
高知大学医学部附属病院検査部 臨床検査技師主任 博士(医学) 修士(理学) 学士(保健衛生学) 森本 徳仁、他
2. HUSにおける補体機能検査とFactorH遺伝子の解析……………
信州大学医学部附属病院臨床検査部 博士(医学) 川戸洞 雅子、他
3. 超音波造影剤ソナゾイドを用いた造影超音波画像による乳癌の新たなセンチネルリンパ節同定法の臨床研究……………
自治医科大学附属さいたま医療センター総合医学第1講座 准教授、臨床検査部副部長 博士(医学)(自治医科大学) 尾本 きよか、他
4. 悪性褐色細胞腫のオミックス解析による予後予測マーカーの探索……………
浜松医科大学医学部附属病院検査部 助教 博士(医学)(浜松医科大学) 飯野 和美、他
5. ミトコンドリア蛋白p32の前立腺がんにおける発現・機能解析……………
九州大学大学院医学研究院臨床検査医学 准教授 博士(医学)(大分医科大学) 内海 健
6. 消化管アミロイドーシスの治療法開発に迫る生理学的、病理組織学的、および蛋白質・生化学的解析……………
熊本大学医学部附属病院中央検査部 講師・医学博士 大林 光念、他
7. 迅速・簡便な非培養による非結核性抗酸菌の次世代シーケンサー核酸検査法の開発……………
長崎大学病院検査部 臨床検査技師 博士(医学) 赤松 紀彦、他
8. C型慢性肝疾患の病態進行における血小板数減少の要因検索と臨床応用……………
山梨大学医学部附属病院検査部 主任臨床検査技師 学士(教養) 長田 誠

平成23年度

1. ヘムオシゲナーゼ-1の抗血栓作用が不育症におよぼす効果の解明……………
金沢大学医薬保健研究域保健学系病態検査学 准教授 博士(医学) 森 下 英理子、他
2. 2型糖尿病におけるC-peptide特異的測定系を用いた長期インスリン分泌能評価の臨床的有用性についての研究……………
和歌山県立医科大学医学部臨床検査医学 助教 博士(医学) 森 田 修 平
3. 高度高中性脂肪血症発症要因としてのAngiopoietin like-4 (Angptl4) のリポ蛋白リパーゼ (LPL) 反応制御異常への関与とその発症機序について……………
東邦大学医療センター佐倉病院 研究開発部 副技師長 博士(理学) 村 野 武 義、他
4. 日和見感染症迅速診断の遺伝子検査標準法の開発と臨床展開……………
長崎大学医歯薬学総合研究科展開医療科学講座 病態解析・診断学分野 助教 博士(医学) 森 永 芳 智
5. 自己抗体発現プロファイリングによる、再生不良性貧血の診断と免疫抑制療法の効果予測……………
札幌医科大学医学部臨床検査医学講座 講師 博士(医学) 栗 林 景 晶、他
6. メタボロミクスによる膠原病の新規診断法の確率……………
神戸大学大学院医学研究科 内科系講座臨床検査・免疫学分野 立証検査医学部門 特命助教 博士(医学) 三 枝 淳、他
7. 口腔癌の新規診断・治療法の開発に迫るがん抑制因子CYLDの発現および機能解析……………
熊本大学医学部附属病院 中央検査部 医員 博士(医学) 神 力 悟、他
8. カルバペネマーゼを産生する腸内細菌群検出法としてのModified Hodge Test (MHT) の問題点とその改良……………
北里大学医学部 総合診療医学 講師 博士(医学) 高 山 陽 子、他

平成24年度

1. 気管支喘息における気道リモデリングバイオマーカーの探索……………
浜松医科大学医学部附属病院検査部 特任講師 博士(医学) 藤 澤 朋 幸
2. 睡眠脳波ならびに筋電図所見の定量評価を用いたレム睡眠行動障害における認知機能低下リスクの推定……………
公益財団法人神経研究所附属睡眠学センター/睡眠総合ケアクリニック代々木 検査部 研究員/臨床検査技師 博士(医学) 咲 間 妙 子、他
3. 白血病におけるFLT3-ITDの生物学的機能と下流分子のバイオマーカーとしての意義……………
東海大学医学部基盤診療学系(臨床検査学) 准教授 博士(医学) 松 下 弘 道
4. ZENプローブ導入によるEvi-1遺伝子定量解析法の構築と急性骨髄性白血病予後予測マーカーとしての応用……………
東京大学医学部附属病院検査部 臨床検査技師 博士(医学) 佐 藤 優 実子、他
5. 薬剤耐性大腸菌のクローン性増殖にかかわる病原因子およびプラスミドの解析……………
京都大学医学部附属病院検査部・感染制御部 助教 博士(医学) 松 村 康 史
6. アミロイドシスの病態解析および新規診断法の開発……………
熊本大学医学部附属病院中央検査部 講師(副部長) 博士(医学) 植 田 光 晴

平成25年度

1. Bacterial small-colony variants の分子生物学的解析とその同定・薬剤感受性検査法の確立……………
信州大学医学部附属病院 臨床検査部 主任 博士(医学) 松 本 竹 久
2. PCRおよびリアルタイムPCRを用いたヒト食中毒早期診断のための下痢原性大腸菌迅速分類技術の開発……………
弘前大学大学院 保健学研究科 医療生命科学領域 助教博士(保健学) 藤 岡 美 幸
3. 質量分析技術を用いたNocardia spp. の迅速同定法の確立ならびに早期適正治療支援のためのデータベース構築に関する研究……………
大阪大学医学部附属病院 臨床検査部 臨床検査技師副主任 博士(保健学) 豊 川 真 弘
4. Virtual Touch Tissue Quantification (VTTQ) 法による脾臓・腎臓腫瘍性病変の鑑別診断……………
北海道大学病院 検査・輸血部/超音波センター 臨床検査技師 短期大学士(検査技術学) 工 藤 悠 輔
5. 超音波検査法による血管内皮機能評価は門脈圧亢進症の治療効果の予測を可能にするか……………
山口大学大学院 医学系研究科 保健学系学域病態検査学分野 助教 博士(医学) 末 永 弘 美
6. スフィンゴシン1リン酸作用修飾による門脈圧亢進症治療へヒトへの応用を目指して……………
東京大学医学部附属病院 検査部 臨床検査技師 修士(保健学) 影 山 祐 子
7. 運動による抗肥満作用に関連するバイオマーカーの探索……………
群馬大学大学院 医学系研究科 臨床検査医学 助教 博士(医学) 常 川 勝 彦

平成26年度

1. 癌や自己免疫疾患、感染症の予後や治療反応性を予測するバイオマーカーとしての可溶性 PD-L1の有用性の検討…
神戸大学医学部附属病院 検査部 特定助教 博士(医学) 笠 木 伸 平、他
2. 動脈硬化症、慢性炎症のバイオマーカーとしての非コレステロールステロール、新規アポ蛋白の検討……………
東京大学医学部附属病院 検査部 特任助教 博士(医学) 蔵 野 信、他
3. 多発性骨髄腫(MM)におけるDNAポリメラーゼ β 遺伝子多型解析……………
群馬大学大学院 保健学研究科 助教 修士(保健学) 笠 松 哲 光
4. 臨床と環境分離Clostridium difficileの細菌学および遺伝学的特徴とそれを利用した感染対策システムの構築…………
東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科 生体防御検査学分野 准教授 博士(保健学) 齋 藤 良 一、他
5. 成人先天性心疾患の3次元心エコー法による心機能評価の検討……………
筑波大学 医学医療系 臨床検査医学 講師 博士(医学) 石 津 智 子
6. 老化肺細胞2型細胞とマクロファージ共培養における肺線維化との関連性の検討……………
信州大学医学部附属病院 臨床検査部 臨床検査技師 修士(保健学) 平 千 明、他
7. 高密度オリゴヌクレオチドアレイによる新規肝癌遺伝子の探索と臨床応用……………
三重大学医学部附属病院 中央検査部 講師 博士(医学) 杉 本 和 史

平成27年度

1. アレルギー性炎症疾患における細胞外DNA traps 産生機構の解明と臨床への応用……………
秋田大学大学院 医学研究科 総合診療・検査診断学講座 准教授 博士(医学) 植 木 重 治、他
2. 造血器腫瘍におけるDNAメチル化阻害薬の治療効果を予測できる因子の検索……………
川崎医科大学 検査診断学教室(病態解析) 講師 博士(医学) 辻 岡 貴 之、他
3. 一卵性双生児を用いた、臨床検査項目に及ぼす遺伝因子寄与率と環境因子寄与率の解明……………
大阪大学大学院 医学系研究科保健学専攻 生体情報科学講座 准教授 博士(医学) 渡 邊 幹 夫、他
4. MALDI-TOF MSを用いたESBL産生.coli B2-ST131クローンのバイオマーカー探索とそのプロテオミクス解析…………
天理医療大学 医療学部 臨床検査学科 特別研究員 中 村 彰 宏、他
5. 高齢者の拡張性心不全予防を目指した左室拡張機能に影響を与える生活習慣および臨床背景の解明……………
東京大学医学部附属病院 検査部 講師 博士(医学) 大 門 雅 夫
6. LC-MS/MSを用いたDNAメチル化異常スクリーニング法の確立と研究応用……………
慶應義塾大学大学院 医学研究科 修士(医学) 中 川 央 充
7. 血小板減少を伴う全身性エリテマトーデスにおける自己抗体の探索……………
北里大学 医療衛生学部 医療検査学科 血液学 講師 博士(医学) 佐 藤 隆 司、他
8. 神経・筋超音波検査における新規半定量評価スコアの開発……………
帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科 准教授 博士(医学) 塚 本 浩、他

平成28年度

1. 活性化ブラウニング脂肪を制御する血中マーカー可溶性レセプターLR11に関する研究……………
東邦大学医療センター佐倉病院 臨床検査部 臨床検査技師 主任 博士(医学) 姜 美 子、他
2. 臨床検査への応用を目指した高比重リボタンパク機能検査法の確立……………
東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科 先端分析検査学分野 助教 博士(理学) 大 川 龍之介
3. 地域ネットワークと次世代技術を活用した市中での薬剤耐性腸内細菌科細菌の獲得・伝播の実態解明と耐性制御…
秋田大学医学部附属病院 中央検査部 講師・副部長 博士(医学) 嵯 峨 知 生、他
4. PMA-qPCRを用いて迅速真菌薬剤感受性検査法の構築……………
山梨大学医学部附属病院 検査部 臨床検査技師 学士(保健学) 荻 原 真 二、他
5. 凝固検査への影響に立脚した直接型経口抗凝固薬の新たな検査血液学的特性の探究……………
慶應義塾大学病院 臨床検査技術室 中央臨床検査部 臨床検査技師 修士(保健学) 藤 森 祐 多
6. Digital PCR法を用いた微量遺伝子定量の臨床検査への応用……………
三重大学医学部附属病院 中央検査部 臨床検査技師 博士(医学) 池 尻 誠

7. 炎症性腸疾患における血清S100タンパク質測定を利用した新しい重症度診断システムの構築……………
天理医療大学 医療学部 臨床検査学科 助手 修士（人間健康科学） 岡田 光 貴
8. 薬剤耐性腸内細菌科細菌の疫学スクリーニング用 迅速検査診断法の開発……………
神戸大学大学院 保健学研究科病態解析学領域 准教授 博士（保健学） 大澤 佳 代、他

平成29年度

1. DNAミスマッチ修復正常型高頻度変異大腸癌の臨床・分子遺伝学的解析により、さらに精密なコンパニオン診断を目指して…
浜松医科大学 臨床検査医学講座 助教 博士（医学） 岩 泉 守 哉
2. 新たな解糖阻止剤の開発……………
東京大学医学部附属病院 検査部 主任臨床検査技師 修士（学術） 久 米 幸 夫、他
3. IgG4関連疾患におけるIgE-IgG4複合体の探索とその臨床的意義の解明……………
北海道大学病院 検査・輸血部 臨床検査技師 修士（保健学） 中 野 恵 一
4. 非侵襲的採取検体を用いたLAMP法によるHHV-6B初感染迅速診断法の開発……………
藤田保健衛生大学 医療科学部 臨床検査学科 助教 修士（保健学） 東 本 祐 紀、他
5. COPDおよび特発性肺線維症患者サンプルにおける脂肪酸組成の解析……………
群馬大学大学院 保健学研究科 生体情報検査科学講座 講師 博士（医学） 松 井 弘 樹、他
6. 川崎病に出現する好中球形態異常の臨床的意義の検証……………
信州大学医学部附属病院 輸血部 准教授 博士（医学） 柳 沢 龍、他
7. 臨床分離 Campylobacter属の経年的MIC分布と薬剤耐性株の疫学に関する研究……………
公益財団法人東京都保健医療公社 豊島病院 検査科 微生物検査室 主任 学士（理学） 山 田 景 士
8. 関節リウマチ患者における血中 IGF-1 濃度とサルコペニアとの関連性に関する検討……………
岐阜大学医学部附属病院 検査部 副臨床検査技師長 博士（医学） 渡 邊 恒 夫

平成30年度

1. 同種造血幹細胞移植後の腸内細菌叢の変化と腸管GVHD発症リスクの解析……………
京都大学医学部附属病院 血液内科 医員 博士（医学） 新 井 康 之、他
2. リンパ球クロスマッチにおけるC3d結合性ドナー特異的抗体の高感度検出法の開発と腎移植患者における臨床的有用性の研究…
北海道大学 北海道大学病院 検査・輸血部 臨床検査技師 短期大学士 伊 藤 誠、他
3. 全自動左室機能解析ソフトを用いた左室駆出率による心不全の分類：予後予測におけるBNPカットオフ値の決定…
産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 修練指導医 博士（医学） 大 谷 恭 子
4. circulating free DNAの保存による品質劣化と遺伝子検査のための事前品質チェックプログラムの構築……………
佐賀大学医学部 臨床検査医学講座 助教 博士（医学） 佐 藤 明 美、他
5. 新規血液凝固マーカーとしての血清および血漿中マイクロパーティクル内microRNAの有用性に関する基礎的検討…
熊本大学医学部附属病院 中央検査部 臨床検査技師 修士（保健学） 塩 津 弘 倫、他
6. Next-Generation Sequencingを用いた基質拡張型βラクタマーゼ産生大腸菌全ゲノム解析による市中への拡散要因に関する研究…
天理医療大学 医療学部 臨床検査学科 助手 専門士 野 口 延 由、他
7. 尿中有形成分の成分解析法の開発および尿中新規バイオマーカーの確立……………
東京大学医学部附属病院 検査部 臨床検査技師 修士（保健学） 森 田 賢 史、他

令和元年度

1. がんパネル検査における archived cytology 検体の有用性の検討……………
山梨県立中央病院 検査部ゲノム検査科/ゲノム解析センター 主任臨床検査技師 修士（保健学） 雨 宮 健 司、他
2. Bacterial small-colony variants を対象とした発生機構の解明と臨床細菌学的検査法の構築……………
浜松医科大学医学部附属病院 検査部 臨床検査技師 修士 太 田 悠 介、他
3. 肝臓の個別化医療を目指すリキッドバイオプシーを用いた新規バイオマーカーの構築……………
東京大学医学部附属病院 検査部 助教 博士（医学） 佐 藤 雅 哉、他
4. 凝固波形解析を用いた血液凝固検査の標準化に関する研究……………
名古屋大学医学部附属病院 医療技術部 臨床検査部門 主任臨床検査技師 博士（医療技術学） 鈴 木 敦 夫

5. 下痢関連疾患におけるculturomicsを用いた常在微生物叢プロファイリングと臨床への展開……………
山形大学医学部附属病院 検査部 主任臨床検査技師 準学士 中山 麻 美
6. 好中球細胞外トラップ (NETs)検出のための血清中シトルリン化フィブリノーゲン測定意義の検討……………
信州大学学術研究院 (保健学系) 検査技術科学専攻 助教 博士 (医学) 樋 口 由美子、他
7. 5-アミノレブリン酸を用いた多発性骨髄腫微小残存病変検出の光線力学診断……………
東北大学病院 検査部 副部長・講師 博士 (医学) 藤 原 亨

令和2年度

1. 脊髄小脳変性症における異常伸長リピート検出法の構築およびそのコントロール試料の作製……………
千葉大学医学部附属病院 検査部 臨床検査技師 博士 (医学) 石 毛 崇 之、他
2. 心エコー法による非侵襲的左房硬さ推定法の開発……………
北海道大学大学院 保健科学研究所 病態解析学分野 講師 博士 (保健科学) 岡 田 一 範
3. ミトコンドリア依存的な乾癆の新たなバイオマーカーの開発……………
九州大学病院 検査部 助教 博士 (医学) 後 藤 和 人
4. チクングニア熱に対する迅速、簡便、安価な乾燥RT-LAMPスクリーニング検査キットの開発……………
大分大学大学院医学系研究科 大分県厚生連鶴見病院 中央検査部 臨床検査科 修士課程学生 臨床検査技師 曾 我 泰 裕
5. 新しいアプローチによる活性化血小板の解析：臨床検査への応用……………
東京大学医学部附属病院 検査部 助教 博士 (医学) 西 川 真 子
6. 血液塗抹標本および病理標本からのシングルセル遺伝子変異解析法の確立と応用……………
京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 助教 博士 (人間健康科学) 松 尾 英 将

令和3年度

1. ARMS-PCR法と核酸クロマト法を用いたMycobacterium avium complex臨床分離株のマクロライド耐性変異に関する簡易検査系の樹立…
慶應義塾大学医学部 臨床検査医学 専任講師 博士 (医学) 上 養 義 典、他
2. 可溶型CLEC-2を利用した特発性血小板減少性紫斑病に潜む血栓リスクの評価……………
山梨大学医学部附属病院 検査部 臨床助教 学士 (医学) 大 石 沙 織、他
3. 迅速一塩基多型検出アッセイを用いた薬剤耐性遺伝子の重型分類法の構築によるカルバペネム耐性菌感染症に対する抗菌薬選択の指針…
聖マリアンナ医科大学 微生物学教室 助教 博士 (医学) 大 神 田 敬、他
4. 血液の包括情報を基に非アルコール性脂肪性肝炎を早期診断するマルチオミクス臨床検査手法の確立……………
東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座 准教授 博士 (医学) 修士 (公衆衛生学) 越 智 小 枝、他
5. 輸血副反応の発症に関連する遺伝的背景並びに発症機序の解析……………
信州大学医学部附属病院 臨床検査部 臨床検査技師 博士 (医学) 紺 野 沙 織、他
6. 経胸壁心エコー検査を用いた僧帽弁術後 (形成術・置換術) 症例における心血管イベント予測指標の検討……………
神戸市立医療センター中央市民病院 臨床検査技術部 臨床検査技師 博士 (医学) 鳥 居 裕 太
7. 大腸癌の新規腫瘍マーカーとなりうる Long non-coding RNAの探索……………
山口大学医学部附属病院 検査部 臨床検査技師長 博士 (医学) 西 岡 光 昭
8. がん遺伝子パネル検査の精度管理……………
東京大学医学部附属病院 検査部 講師 博士 (医学) 渡 邊 広 祐

令和4年度

1. TNFR2の新規ATL発症予測バイオマーカーとしての臨床応用及び上昇メカニズムの解明……………
琉球大学医学部 保健学科 生理機能検査学 准教授 博士 (保健学) 今 泉 直 樹、他
2. FCMを用いたIgGサブクラス測定における胎児新生児溶血性疾患の重症度評価……………
東邦大学医療センター佐倉病院 輸血部 主任臨床検査技師 学士 (理学) 蓮 沼 秀 和、他
3. Piled Microvasucler Imaging (Piled MVI)を用いた血管形態学的アプローチによる慢性肝疾患線維化診断法の確立…
福岡徳洲会病院 臨床検査科 主任 修士 (保健学) 三 浦 大 輔
4. Mycobacterium avium complex 臨床分離株のマクロライド耐性変異に関するDNAクロマトグラフィ法を用いた簡易検査法の開発…
慶應義塾大学医学部 感染症学教室 専任講師 博士 (医学) 三木田 馨

5. 前毛細管性肺高血圧症患者における肺動脈弁逆流速度波形分析に基づく非侵襲的右室ステイフネスの評価法の開発・右室圧-容積曲線から求めた標準的右室ステイフネスとの対比に基づく検討…
北海道大学大学院保健科学院 北海道大学病院 超音波センター 助教 臨床検査技師 博士(保健科学) 村山 迪史、他
6. 設定未踏の検査項目の中長期的な生理的変動幅を設定・意義づけすることで、臨床検査の質保証と個別化医療に貢献する…
浜松医科大学医学部附属病院 検査部 副部長 臨床検査技師長 博士(医学) 山下 計太、他
7. メタロβ-ラクタマーゼの分子識別に資する化合物の最適設計と検査法の構築……………
修文大学 医療科学部 臨床検査学科 准教授 博士(医学) 和知野 純一、他

令和5年度

1. 新たな誘導型薬剤耐性強化機構に適応する細菌検査法の確立に向けた研究……………
九州大学大学院医学研究院 保健学部門 検査技術科学分野 講師 博士(医学) 相原 正宗
2. 血中循環エクソソームによるANCA関連血管炎の新規バイオマーカーの開発……………
神戸大学医学部附属病院 検査部 臨床検査主任技師 博士(医学) 生戸 健一、他
3. エクストラクションフリーの遺伝子検査……………
長崎大学医学部 ウイルス学分野 准教授 博士(医学) 宇野 直輝
4. 急性腎障害から慢性腎臓病への移行を予測する尿中マーカー開発に向けた尿細管修復関連マイクロRNAの探索……
北里大学 医療衛生学部 医療検査学科 講師 博士(医学) 黒崎 祥史
5. 混合モデルクラスタリング法を用いた、生理検査のデータ駆動的基準範囲作成手法確立……………
東京大学医学部附属病院 検査部 講師 博士(医学) 代田 悠一郎
6. RNAモドミクス解析の臨床検査応用に関する研究……………
東北大学病院 診療技術部 臨床検査部門 主任臨床検査技師 博士(医学) 鈴木 千恵、他
7. 標準化を目指したアミロイドーシス診断における病理プロテオーム解析の検査アルゴリズムの作成……………
熊本大学大学院 生命科学研究部 生体情報解析学講座 准教授 博士(医学) 田崎 雅義
8. 医療従事者のワクチンプログラムに資する多項目同時抗体検査の構築と検証……………
京都大学医学部附属病院 検査部 講師 博士(医学) 山本 正樹

令和6年度

1. COPDの早期発見のための脂質バイオマーカーの探索……………
東京大学医学部附属病院 検査部 助教 博士(医学) 砂金 秀章
2. 新規の肝細胞癌バイオマーカーとしての糖化フェリチン測定法の開発……………
山口大学大学院 医学系研究科 臨床検査・腫瘍学講座 助教 修士(保健学) 石黒 旭代
3. 薬剤耐性マイコプラズマジェニタリウム簡易検出法の開発……………
埼玉医科大学 臨床検査医学 講師 博士(医学) 今井 一男、他
4. 細胞外小胞を介したミトコンドリア脳筋症回復効果のメカニズム解明……………
九州大学大学院医学研究院 保健学部門 検査技術科学分野 助教 博士(医学) 上田 沙央理
5. 呼吸器感染症の重症化および予後に関連する新規バイオマーカーの探索……………
長崎大学病院 臨床検査科 助教 博士(医学) 賀来 敬仁
6. 急性腎障害における尿中老化細胞の検出とスクリーニング法の確立……………
藤田医科大学 医療科学部 病態システム解析医学分野 准教授 博士(医学) 星 雅人
7. てんかん性脳症の認知機能障害を捉える High-frequency oscillation(HFO) を指標とした脳波バイオマーカーの開発…
藤田医科大学 医療科学部 臨床教育連携ユニット 生体機能解析学分野 講師 博士(医療科学) 前田 圭介

日本臨床検査医学会への研究助成

〔所属・職位等については授与時のものです〕

※平成12年11月日本臨床病理学会は日本臨床検査医学会と名称変更。

臨床病理学研究振興会

昭和63年度

日常初期診療における検査の使い方……………
日本臨床病理学会臨床検査点数委員会 代表者 関 口 進

公益信託 臨床検査医学研究振興基金

平成元年度

日常初期診療における検査の使い方……………
日本臨床病理学会臨床検査点数委員会 代表者 関 口 進

平成2年度

日常初期診療における検査の使い方……………
日本臨床病理学会臨床検査点数委員会 代表者 関 口 進

平成4年度

日常初期診療における臨床検査の使い方……………
日本臨床病理学会臨床検査点数委員会 代表者 関 口 進

平成6年度

日常初期診療における臨床検査の使い方……………
日本臨床病理学会臨床検査点数委員会 代表者 関 口 進

平成7年度

日常初期診療における臨床検査の使い方……………
日本臨床病理学会臨床検査点数委員会 代表者 関 口 進

平成10年度

日常初期診療における臨床検査の使い方……………
日本臨床病理学会臨床検査点数委員会 代表者 渡 邊 清 明

平成11年度

日常初期診療における臨床検査の使い方……………
日本臨床病理学会臨床検査点数委員会 代表者 渡 邊 清 明

平成12年度

日常初期診療における臨床検査の使い方……………
日本臨床検査医学会「日常初期診療における臨床検査の使い方」小委員会 委員長 渡 邊 清 明

平成13年度

日常初期診療における臨床検査の使い方……………
日本臨床検査医学会「日常初期診療における臨床検査の使い方」小委員会 委員長 渡 邊 清 明

平成14年度

日常初期診療における臨床検査の使い方……………
日本臨床検査医学会「日常初期診療における臨床検査の使い方」小委員会 委員長 渡 邊 清 明

平成15年度

日常初期診療における臨床検査の使い方……………
日本臨床検査医学会「日常初期診療における臨床検査の使い方」小委員会 委員長 渡 邊 清 明

「小酒井 望賞」受賞者名簿

〔所属・職位等については受賞時のものです〕

平成2年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
網野 信行	大阪大学医学部 臨床検査診断学教室	助教授 医学博士	昭和56年度「抗甲状腺自己抗体測定 of 臨床的意義」と最近5年間の研究成果

平成3年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
伊藤 喜久	自治医科大学 臨床病理学教室	助教授 医学博士	昭和56年度「ヒトa1-microglobulinの基礎的研究およびその臨床的応用」と最近5年間の研究成果

平成4年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
江崎 孝行	岐阜大学医学部 微生物学講座	教 授 医学博士	昭和57年度「嫌気性球菌および微好気性レンサ球菌の分類の再編成」と最近5年間の研究成果

平成5年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
神奈木 玲児	愛知県がんセンター 研究所病理第2部	部 長 医学博士	昭和60年度「血液細胞の糖鎖抗原のモノクローナル抗体を用いた研究」と最近5年間の研究成果

平成6年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
鈴木 宏治	三重大学医学部 分子病態学教室	教 授 医学博士 薬学博士	昭和57年度「新しい血液凝固線溶系制御物質proteinCおよびそのインヒビターに関する病態生化学的研究」と最近5年間の研究成果

平成7年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
中村 良子	昭和大学医学部 附属藤が丘病院 臨床病理科	助教授 医学博士	昭和59年度「モノクローナル抗体および共通抗原を用いたキャンピロバクター感染症の迅速診断法の開発」と最近5年間の研究成果

平成8年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
中原 一彦	東京大学医学部 臨床検査医学教室	教 授 医学博士	平成2年度「フローサイトメトリーによる細胞内のpHの測定、ならびにリンパ球サブセット間の活性化の異同と病態との関連」と最近5年間の研究成果

平成9年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
巽 典之	大阪市立大学医学部 臨床検査医学教室	教 授 医学博士	昭和59年度「赤血球異常症の自動診断システム開発に関する研究」と最近5年間の研究成果

平成10年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
向田 直史	金沢大学がん研究所 腫瘍分子科学	助教授 医学博士	昭和60年度「リンフォカイン測定法の開発とその臨床応用」と最近5年間の研究成果

平成11年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
尾崎 由基男	山梨医科大学 臨床検査医学	教 授 医学博士	昭和62年度「炎症性疾患における末梢血好中球による血小板活性化因子合成能の変化及び起因物質の検索」と最近5年間の研究成果

平成12年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
市原 清志	川崎医科大学 検査診断学	助教授 医学博士	昭和60年度「大規模な臨床検査データベースを活用した新しい病態解析法の開発、下垂体甲状腺系の潜在的病態構造の解明」と最近5年間の研究成果

平成13年度

氏 名	現所属機関	現 職 位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
岡田 正彦	新潟大学医学部 検査診断学	教 授 医学博士	昭和62年度「情報処理技術における正常値の見直しと診断論理の確立」と最近5年間の研究の成果

平成14年度

氏 名	現所属機関	現 職 位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
前川 真人	浜松医科大学 臨床検査医学教室	教 授 医学博士	平成2年度「乳酸脱水素酵素A(M)サブユニット欠損症の遺伝子レベルでの研究」と最近5年間の研究成果

平成15年度

氏 名	現所属機関	現 職 位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
一山 智	京都大学大学院 医学研究科 臨床病態検査学	教 授	平成6年度「老人施設内感染症の分子疫学的研究」

平成16年度

氏 名	現所属機関	現 職 位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
高木 康	昭和大学医学部 医学教育推進室	教 授	昭和63年度「単球分泌アポリポタンパクEに関する研究—動脈硬化との関係について—」と最近5年間の研究の成果

平成17年度

氏 名	現所属機関	現 職 位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
宮地 勇人	東海大学医学部 臨床検査医学	教 授	平成3年度「PCR法を用いた白血病薬剤耐性検査法の臨床応用」

平成18年度

氏 名	現所属機関	現 職 位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
清島 満	岐阜大学大学院 医学系研究科 病態情報解析医学	教 授	平成5年度「アポA-Ⅳの生理的機能に関する研究」およびその後の臨床検査分野における業績

平成19年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
川合 陽子 カワイ ヨウコ	山王病院 予防医学センター	教授	平成1年度「von Willebrand病の遺伝子解析」に対する研究奨励金受賞、およびその後の凝固・線溶系検査の標準化を始め、臨床検査の開発・普及、ならびに検査室運営に関する貢献

平成20年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
松野 一彦 マツノ カズヒコ	北海道大学医療 技術短期大学部 衛生技術学科	教授	昭和61年度「血小板内カルシウム動態測定 of 臨床応用」と最近5年間の研究成果

平成21年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
矢富 裕 ヤトミ ユタカ	東京大学医学部 附属病院検査部	教授	平成9年度受賞「血漿スフィンゴシン_1_リン酸の生理的・病態生理的意義の関する研究」と最近5年間の研究成果

平成22年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
山田 俊幸 ヤマダ トシユキ	自治医科大学 臨床検査検査部	教授	平成9年度受賞「血清アミロイドA蛋白の遺伝、表現型とアミロイド原性に関する研究」と最近5年間の研究成果

平成23年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
北島 勲 キタジマ イサオ	富山大学大学院 医学薬学研究部	臨床分子病態 検査医学教授	平成6年度「非放射性PCR-SSCP法を用いた家族性高コレステロール血症者のLDLレセプター異常遺伝子診断スクリーニング法の開発」と最近5年間の研究成果

平成24年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
三井田 孝 ミイダ タカシ	順天堂大学医学部 臨床検査医学講座	教授 博士(医学)	平成7年度 HDLのconversionにおけるコレステリルエステル転送蛋白およびリパーゼの役割について

平成25年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
通山 薫 トオヤマ カオル	川崎医科大学 検査診断学 (病態解析)	教授	平成12年度 白血病細胞の分化過程の解析と分化誘導の評価診断に関する研究

平成26年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
安東 由喜雄 アンドウ ユキオ	熊本大学大学院 生命科学研究部 神経内科学分野	教授	平成12年度 家族性アミロイドポリニューロパチー (FAP) の診断、病態解析、及び治療

平成27年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
福地 邦彦 フクチ クニヒコ	昭和大学病院 臨床病理診断科	教授	平成4年度 細胞内鉄キレートに伴うc-mycおよびc-fos発現増強の機序の解明

平成28年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
木村 聡 キムラ サトシ	昭和大学横浜市 北部病院 内科系診療センター	教授	平成5年度 前癌状態での糖鎖抗原発現の特性と、 肺癌早期診断、細胞診自動化への応用

平成29年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
東田 修二 トウダ シュウジ	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科	教授	平成7年度 急性白血病の細胞特性の検査の研究

平成30年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
岩谷 良則 イワタニ ヨシノリ	大阪大学大学院 医学系研究科	名誉教授	平成3年度 組織浸潤リンパ球サブセット測定による自己免疫 性甲状腺疾患の病因・病態解析

令和元年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
細萱 茂実 ホソガヤ シゲミ	東京工科大学 医療保健学部 臨床検査学科	教授	平成3年度 臨床検査データの施設間誤差変動の解析お よび施設間差是正のための方法論の構築

令和2年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
菊池 春人 キクチ ハルヒト	慶應義塾大学医学部 臨床検査医学	専任講師	平成4年度 Wilms腫瘍における遺伝子変異と組織像との関連

令和3年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
菱沼 昭 ヒシヌマ アキラ	獨協医科大学 感染 制御・臨床検査医学	教授	平成12年度 甲状腺腫患者におけるサイログロブリン遺伝 子異常症の発生頻度と病因解析

令和4年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
田部 陽子 タベ ヨウコ	順天堂大学医学部 臨床検査医学	教授	平成17年度 フローサイトメトリー法を用いた慢性リンパ性 白血病細胞内ZAP-70およびリンパ系悪性腫瘍細胞内 リン酸化蛋白発現の検出と臨床検査への応用

令和5年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
大西 宏明 オオニシ ヒロアキ	杏林大学医学部 臨床検査医学教室	教授	平成17年度 癌の特異的分子治療の効果に影響を及 ぼす遺伝子異常の検出および臨床応用可能な簡便な検 査法の開発

令和6年度

氏 名	所属研究機関	職位・学位	研究奨励金受賞年度と受賞対象
柳原 克紀 ヤナギハラ カツノリ	長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 病態解析・診断学分野 長崎大学病院 臨床検査科/検査部	教授 部長	平成21年度 One-Step Multi-Genotyping 法による 市中感染型MRSAの迅速診断法

「藤田光一郎賞」受賞者名簿

〔所属・職位等については受賞時のものです〕

平成15年度

氏 名	現所属機関	現 職 位	受 賞 対 象
河合 忠	国際臨床病理 (ICP) センター	所 長	臨床検査室の管理運営・精度管理の普及

平成16年度

氏 名	現所属機関	現 職 位	受 賞 対 象
佐々木匡秀	高知医科大学	名誉教授	臨床化学検査の超微量定量法の開発と臨床検査システムの開発

平成17年度

氏 名	現所属機関	現 職 位	受 賞 対 象
菅野 剛史	浜松市医療公社	理 事 長	血液検査の搬送システムを中心とする臨床検査の自動化およびシステム化

平成18年度

氏 名	現所属機関	現 職 位	受 賞 対 象
河野 均也	—————	日本大学名誉教授	on-call conference立ち上げならびに精度管理・精度保証に対する貢献

平成19年度

氏 名	現所属機関	現 職 位	受 賞 対 象
近清 裕一 チカキヨ ヒロカズ	KKコアファイブ	代表取締役 医学博士	検査部のマネージメント改革に先駆的に取り組み、総合病院として我が国初の第三者機関認定（CAP認定）を取得し、ISO15189に基づく認定の牽引車的役割を果たしたこと

平成20年度

氏 名	現所属機関	現 職 位	受 賞 対 象
大場 康寛 オオバ ヤスヒロ	近畿大学	名誉教授・医学博士	生化学検査の微量分析法の開発と小児基準値の設定、ならびにコンピュータを用いた精度管理システムの確立

平成21年度

氏 名	現所属機関	現 職 位	受 賞 対 象
只野壽太郎 タダノ ジュタロウ	財団法人 緒方医学化学研究所	常任理事	検査室の自動化と24時間緊急検査体制の構築、ならびに総合感染症コントロールシステムの開発

平成22年度

氏 名	現所属機関	現 職 位	受 賞 対 象
該当なし	—————	—————	—————

平成23年度

氏 名	現所属機関	現 職 位	受 賞 対 象
大谷 英樹 オオタニ ヒデキ	医療法人社団 誠馨会 総泉病院	内科・診療技術部 部長	わが国における最初の、臨床検査医と臨床検査技師の常駐による、診療支援のための、本格的な「検査情報(相談)室」の設置

平成24年度

氏 名	現所属機関	現 職 位	受 賞 対 象
櫻林郁之介 サクラハヤシ イクノスケ	自治医科大学／ 医療法人一成会 さいたま記念病院	名誉教授／名誉院長 博士(医学)	脂質関連検査の開発・改良・標準化に対する貢献、ならびに学会および臨床検査医学分野の発展に対する功績

平成25年度

氏 名	現所属機関	現 職 位	受 賞 対 象
渡辺 清明 ワタナベ キョウキ	慶應義塾大学／ 国際医療福祉大学	名誉教授 教授	保険医療上の臨床検査の価値の向上のみならず患者視点での臨床検査の有用性の向上および外来迅速検査の普及

平成26年度

氏 名	現所属機関	現 職 位	受 賞 対 象
森 三樹雄 モリ ミキオ	獨協医科大学／ 十文字学園女子大学	名誉教授 名誉教授	日本臨床検査専門医会会長、世界臨床病理学・臨床検査医学会連合(WASPaLM)会長等を歴任し、我が国および世界の臨床検査医学の発展ならびに後継者の育成に貢献したこと

平成27年度

氏 名	現所属機関	現 職 位	受 賞 対 象
濱崎 直孝 ハマサキ ナオタカ	佐世保市保健所／ 長崎国際大学	保健所長 客員教授	臨床検査医学分野の教育および臨床検査室の管理運営、深部静脈血栓症の危険因子としてのプロテインS遺伝子変異の研究、ならびに臨床検査精度管理システムの構築、および国内外にわたる臨床検査医学の普及に対する貢献

平成28年度

氏 名	現所属機関	現 職 位	受 賞 対 象
芝 紀代子 シバ キヨコ	文京学院大学	名誉教授	永年に渡る、臨床検査分野の教育に対する多大な尽力、かつ学会活動等を通じての臨床検査の学術面における貢献

平成29年度

氏 名	現所属機関	現 職 位	受 賞 対 象
猪狩 淳 イガリ ジュン	順天堂大学	名誉教授	臨床検査医学、とりわけ臨床微生物学分野における研究・教育、臨床検査部の管理運営に対しての尽力、ならびに学会活動、精度管理事業を通しての、本邦における細菌検査の質の向上に対する貢献

平成30年度

氏 名	現所属機関	現 職 位	受 賞 対 象
岡部 紘明 オカベ ヒロアキ	横浜南共済病院／ 臨床検査科	部長	臨床検査医学とりわけ生化学分野における教育・研究ならびに臨床応用、および検査部の管理運営・自動化システムの構築、学会・学術活動に対する貢献

令和元年度

氏 名	現所属機関	現 職 位	受 賞 対 象
吉田 浩 ヨシダ ヒロシ	公益財団法人 仁泉会 北福島医療センター	院長	臨床検査医学とりわけ免疫血清学分野における教育・研究ならびに臨床応用、および臨床検査部の管理運営と精度管理活動に対する貢献

令和2年度

氏 名	現所属機関	現 職 位	受 賞 対 象
小栗 豊子 オグリ トヨコ	順天堂大学医学部 臨床検査医学	非常勤講師	微生物検査の適正な検査法と精度管理の確立による我が国 微生物検査の質の向上に対する貢献

令和3年度

氏 名	現所属機関	現 職 位	受 賞 対 象
登 勉 ノボリ ツトム	小山田記念温泉病院 三重大学	小児科部長 名誉教授	遺伝子検査を臨床検査部に導入し、コンパニオン診断の 基盤を整備された貢献

令和4年度

氏 名	現所属機関	現 職 位	受 賞 対 象
中原 一彦 ナカハラ カズヒコ	東京大学 独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構	名誉教授	臨床検査室の管理・運営への多大な功績 -特に先進的総合検体検査システムの構築-

令和5年度

氏 名	現所属機関	現 職 位	受 賞 対 象
桑島 実 クワジマ ミノル	前 香川県立中央病院 中央検査部	前 副院長 兼主任部長	医療における臨床検査専門医の重要性を地域医療機関で 啓発するとともに後輩専門医育成に対する貢献に対して

令和6年度

氏 名	現所属機関	現 職 位	受 賞 対 象
松野 一彦 マツノ カズヒコ	北海道大学	名誉教授	検査血液学領域の発展と北海道地域の臨床検査技師 育成の功績に対して